

第4章 地区別計画

地区別計画は、地域が主体となり、目指すまちの姿や地域の様々な課題に対する取組をまとめたものです。地域に住む人・働く人が中心となって策定・推進する計画です。中区では、区内の12連合町内会エリアに寿地区を加えた13地区で策定しています。

策定エリア

- ①第1北部地区 ②第1地区中部 ③関内地区 ④埋地地区 ⑤寿地区
- ⑥石川打越地区 ⑦第2地区 ⑧第3地区 ⑨第4地区南部 ⑩第4地区北部
- ⑪本牧・根岸地区 ⑫第6地区 ⑬新本牧地区



日頃から地域において様々な活動を行っている自治会町内会や地区社会福祉協議会のメンバーなど、各地区の住民、活動者のみなさんによって検討が重ねられ、作成に至りました。今後も定期的に地域や各団体の状況や活動を共有し合う対話・学びの機会を持ち続けていくことが大切です。取組が進んだことや難しいことを確認し合い、次の活動につなげていきます。

地区と区域一覧

地区連合町内会	区 域
① 第1北部地区	赤門町・内田町・黄金町・桜木町・野毛町・初音町・花咲町・英町・日ノ出町・宮川町
② 第1地区中部	曙町・伊勢佐木町・末広町・末吉町・羽衣町・福富町・蓬莱町・弥生町・吉田町・若葉町・長者町の一部
③ 関内地区	相生町・太田町・尾上町・海岸通・北仲通・新港1丁目・新港2丁目・住吉町・常盤町・日本大通・弁天通・本町・真砂町・港町・南仲通・元浜町・横浜公園
④ 埋地地区	翁町・千歳町・万代町・富士見町・不老町・山田町・山吹町・吉浜町・扇町・寿町・長者町・松影町・三吉町の一部
⑤ 寿地区	扇町・寿町・長者町・松影町・三吉町の一部
⑥ 石川打越地区	石川町・打越
⑦ 第2地区	新山下一丁目・新山下二丁目・新山下三丁目・元町・山下町
⑧ 第3地区	上野町・柏葉・鷲山・竹之丸・立野・仲尾台・西之谷町・本牧緑ヶ丘・豆口台・妙香寺台・麦田町・大和町・滝之上・山手町の一部
⑨ 第4地区南部	本郷町・本牧町・本牧満坂・本牧荒井の一部
⑩ 第4地区北部	北方町・小港町・諏訪町・千代崎町・本牧十二天・山手町の一部
⑪ 本牧・根岸地区	根岸町・根岸加曾台・池袋・矢口台・本牧間門・本牧荒井の一部・本牧三之谷・本牧大里町・本牧元町・本牧原の一部・錦町・かもめ町・千鳥町・豊浦町・本牧ふ頭・南本牧
⑫ 第6地区	大芝台・大平町・塚越・寺久保・西竹之丸・根岸旭台・根岸台・簗沢・山元町・滝之上・山手町の一部
⑬ 新本牧地区	本牧宮原・本牧和田・和田山・本牧原の一部

※人口・世帯などのデータは、町丁別に分け統計をとっていますが、番地別には分けられないため、一部重複して計上しています。

第1北部地区

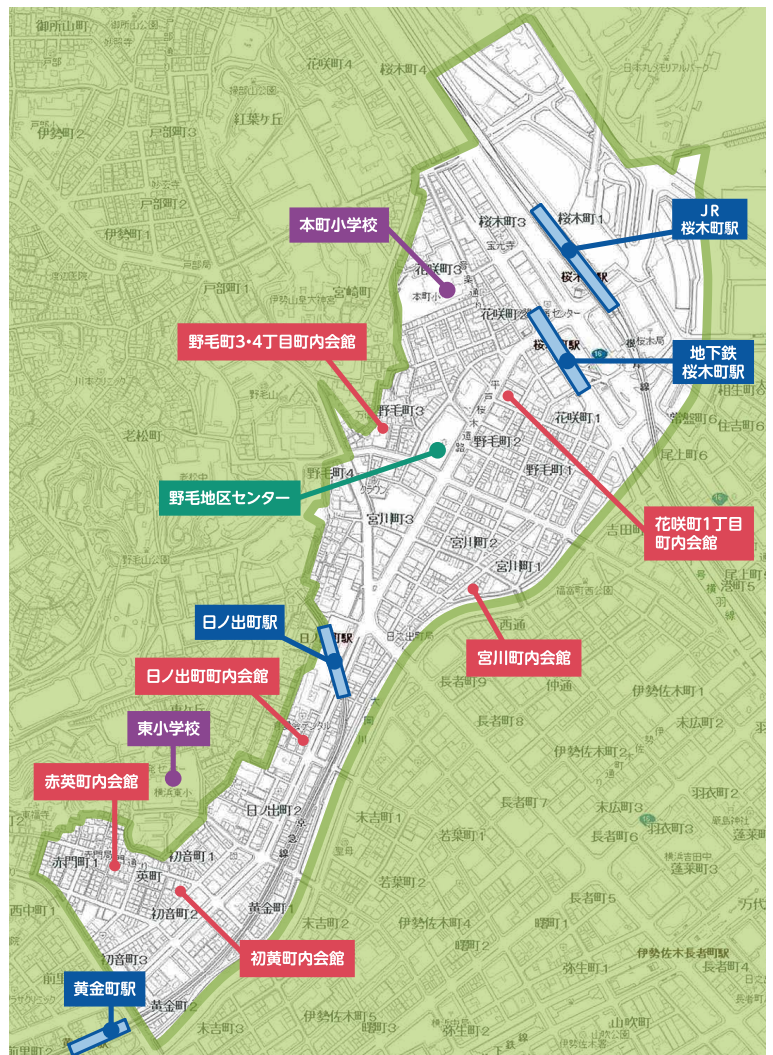
5年後の目指す姿

多世代・多国籍の人が、ともに地区活動、見守り、
情報発信に取り組むまち



第1北部地区はこんなまちです

野毛山丘陵の裾野と大岡川に沿った地域で、川の上流は赤門で有名な東福寺から、下流は桜木町駅までの細長い地区。古くからの商店街があり、人情味ある下町と新しい街並みが融合しています。野毛大道芸などのイベントや大岡川を活用した取組、アートを取り入れたまちづくり等で活気にあふれています。



赤門町・内田町・黄金町・桜木町・野毛町・初音町・花咲町・英町・日ノ出町・宮川町

これまでの計画(第3期)の振り返り

ふれあい給食会の参加者を増やすために、対象者の見直しやチラシ、メニューの工夫をし、周知を広げました。

地域の活動を共有し、周知するため、新たに「イベントマップ」を作成し、回覧や掲示板の掲示を行いました。

自治会町内会未加入者や外国人も地域行事に参加できるよう、多言語版のチラシを作成し、掲示板・回覧で周知しました。

数多く行われている防犯パトロールを通じて、人と人との交流の輪が広がり、安全・安心なまちづくりが進んでいます。

ラジオ体操や餅つき大会、親子ハイキング等の様々な地域活動を通じて、新たな交流が生まれ、地域活動の活性化につながりました。

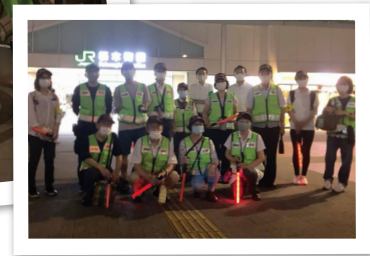
地域活動の担い手が不足しており、いろいろな機関が繋がって取り組む工夫が必要です。

第4期計画

目標	第4期の取組
<p>孤立を予防し、お互いが見守り合える、声かけができるようきっかけを作ろう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ふれあい給食会を継続していきます。 ● 様々な地域の活動やイベント(親子ハイキング)、民生委員・児童委員の定期訪問等を通じて、こどもから高齢者、障害の有無や国籍を超えて、お互いに見守り合えるきっかけづくりを行います。 ● 小学校とのつながりを生かして、孤立予防に取り組みます。(ふれあい給食会での交流等)
<p>様々な関係機関や団体と、人が上手につながるために、対話と学びの機会を増やそう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区連合会議、中なかいいネ！推進会議等、様々な人が集まる会議で、取組について共有し、新しい取組等も伝えていきます。 ● それぞれ地区で取り組んでいる良い活動を見つけ、支援していきます。 ● 中なかいいネ！推進会議で取り組んでいるイベントMAPの内容をさらに充実させます。
<p>ラジオ体操等を通じ、体力づくりを引き続き、取り組んでいこう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本町小学校で行われているラジオ体操、大運動会、その他、各町内会で行われているラジオ体操や、介護予防教室、こども会の活動等、身近な場所で取り組める健康づくりの活動を把握し、支援していく方法を検討していきます。
<p>安全・安心なまちづくりをしよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 防犯パトロール(野毛地区昼・夜、日ノ出町エリア)を継続します。

第4期計画はこのようにつくりました

地区社協のメンバーを中心に構成された「第1北部地区中なかいいネ！推進会議」を年4回実施し、中心メンバーで話し合いながら作りました。



nakanaka photo



取り組む理由

視点

- コロナ禍で地域の活動が減少しています。
- 今までの取り組みが「孤立予防」の活動であることを再認識し、気持ちを新たに取り組む必要があります。

えん結び

- 企業や商店、NPO 法人、警察等、様々な機関や団体が多く存在し、まちづくりに関わっており、交流も盛んです。地区は、縦長の地形であり、北側と南側にある地区の活動の共有が難しいです。
- 各々の活動をうまくつなげていくことが、地域の活性化につながると考えます。

えん結び

- 個人での健康づくりと地域での健康づくりの両輪で健康づくりを進めていく必要があります。
- 発災時に動ける体を維持します。

元気いっぱい

- 主体的に防犯パトロールが行われており、地域の見守りに効果が期待できます。

えん結び

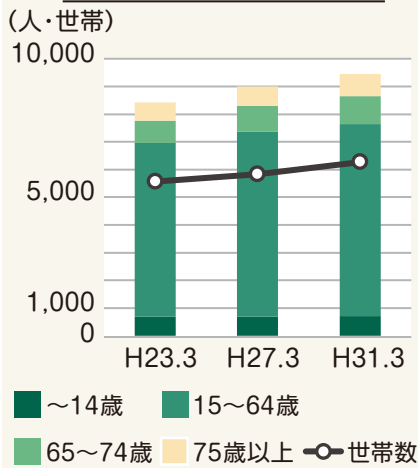
えん結び…見守り力を高める取組 元気いっぱい…健康づくりの取組

第1北部地区の統計データ

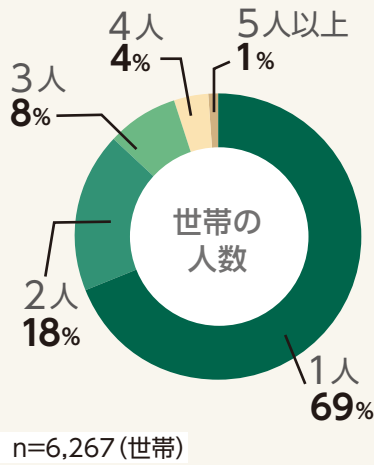
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	8,423	681	6,289	797	656	17.3	5,565	1.51
H27.3	8,994	681	6,693	917	703	18.0	5,831	1.54
H31.3	9,454	719	6,923	1,007	805	19.2	6,267	1.51

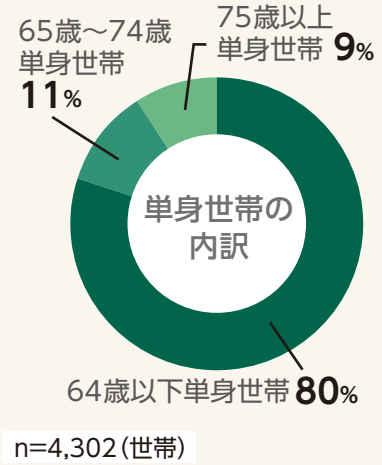
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)

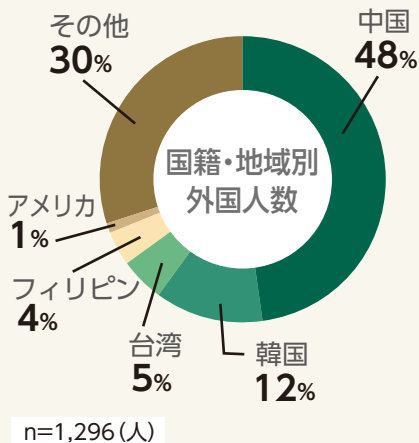


世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	6,064	4,079	67.3	427	375	250
H31.3	6,267	4,302	68.6	468	395	257
R2.3	6,425	4,479	69.7	435	440	257

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

地区内の外国人の状況 (H31.4現在)



データから見た 第1北部地区

人口、世帯数とも微増しています。

一方で、高齢化率は区平均(23.4%)よりは低いですが、年々増加してきています。昔から住む住民が多くいる地域もあり、それらの地域では高齢化率も高くなっています。

地区内には外国人も多く、地区の人口の13.6%を占めています。国籍別では中国、次いで韓国が多いですが、その他の国の占める割合も高くなっています。

第1地区中部

5年後の目指す姿

高齢者、障害者、こどもが多文化共生する、
安全で健康なまち「いちなか」



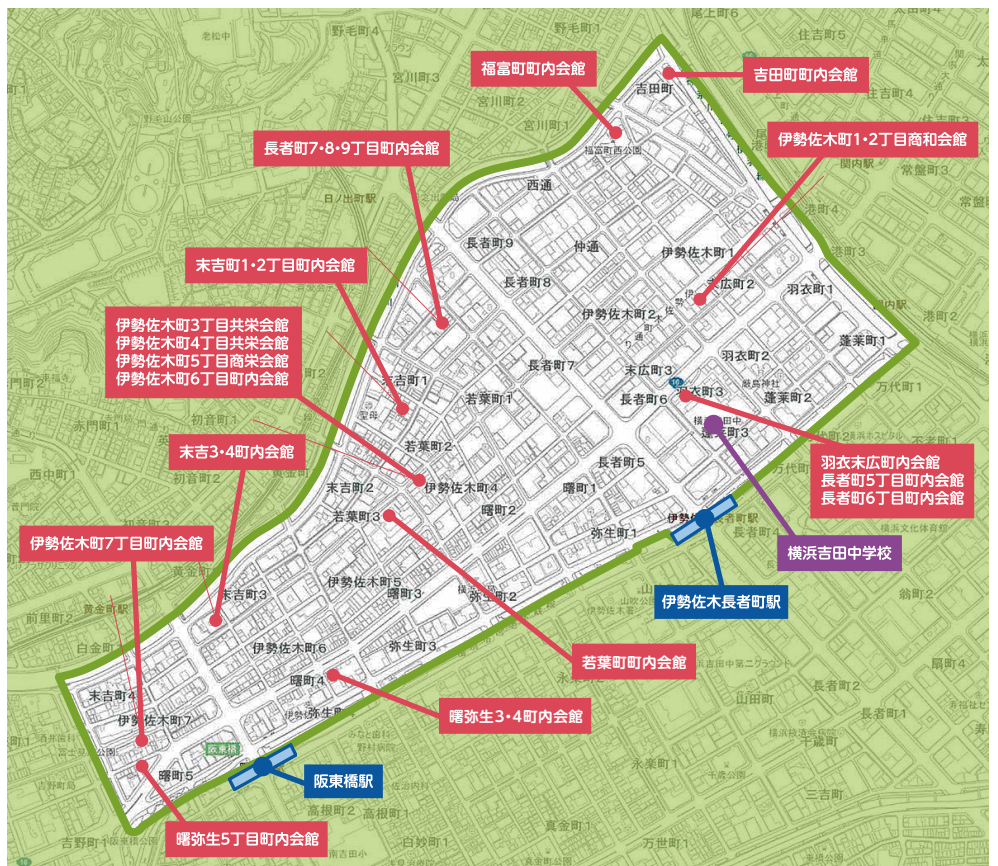
おしゃべり会 ▲



お花見の集い ▲

第1地区中部は こんなまちです

横浜開港から賑わいの中心となってきたまち。お三の宮日枝神社の例大祭や商店街のイベント等で活気にあふれ、地域住民の交流も活発に行われています。また外国人が多く暮らしている国際色豊かな地域でもあります。



曙町・伊勢佐木町・末広町・末吉町・羽衣町・福富町・蓬莱町・弥生町・吉田町・若葉町・長者町の一部

※伊勢佐木町1・2丁目商和会館等の記載以外にも、末吉町4丁目あおぞら自治会、曙1・2丁目町内会、弥生町1・2丁目町内会、蓬莱町町内会等の自治会町内会があります。

これまでの計画(第3期)の振り返り

各種地域のイベント(さくら祭り、おしゃべり会、バスハイク等)で交流をはかりました。

伊勢ぶらクラブでコグニサイズ(介護予防体操)に取り組み、介護予防に取り組みました。

ラジオ体操では、国籍の異なる生徒や家族が参加しやすいよう、多言語版チラシを作成するなど、多文化共生に取り組みました。

住宅地だけでなく、商業施設・店舗が多いことから、住民だけでなく在勤の方とともに地域づくりに取り組む必要があります。

第4期計画

目標	第4期の取組
<p>顔が見える関係づくりをすすめます。(地域課題に地域で取り組む土台づくり)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 感染症対策を踏まえた上で、お花見の集い、バス旅行、おしゃべり会、親子ハイキング、もちつき大会、視覚障害者と青少年の交流ボーリング大会などのイベントや、健康づくりと商店会活性化イベント等、新たな機会を検討します。 ● 生活習慣や文化の異なる国籍の方々が地域生活を送りやすくするとともに、国籍や文化に関わらず理解しあい、交流をはかるための場や方法を検討します。(外国籍住民との交流会、国際交流ラウンジと繋がる機会等) ● より身近な範囲で住民同士のつながりができるようにしていきます。また、困ったことがあった時に声をかけあいます。
<p>地域でこどもを見守り、安心して子育てができるまちを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ラジオ体操を継続します。国籍の異なるこどもたちとその家族等が参加しやすい方法を継続的に検討し、実施します。 ● こどもを見守り、支援できる取り組みを検討します。(子ども食堂や居場所との連携など) ● 赤ちゃん学級や子育て支援者による相談を周知します。より多くの住民が利用できるよう周知方法を検討します。
<p>認知症への正しい理解が進み、誰もが安心して地域で生活できるようなまちを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症サポーター養成講座を開催します。また、多くの方に参加してもらうための周知方法を検討し、実施します。 ● 企業、商業施設、店舗等でも認知症サポーター養成講座を開催することと併せ、認知症の方でも安心して買い物をしたり交流したりすることができる場や方法を検討します。 ● 介護予防の取組と交流をはかる場をつくっていきます。

第4期計画はこのようにつくりました

地区社協、民生委員・児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員等で構成される「第1地区中部中なかいいネ!推進会議」を年4回程度実施し、話し合いながら作りました。



中学生の職業体験

nakanaka photo



ラジオ体操



視覚障害者と青少年の
交流ボーリング大会



取り組む理由

視点

- 感染症拡大の影響により、既存の交流の場が縮小・休止となっており、交流の機会をつくる必要がある。
- 以前と同様か、現状にあわせた新しい手法、担い手を検討する必要がある。
- 新しい住民も増えていくので、全ての地域活動の活性化に不可欠な顔を見知った関係を醸成する必要がある。
- 単身世帯が多く、困ったときにすぐに気づける関係づくりが必要。

えん結び

- 国籍の異なる子どもが多い地域特性がある。孤立して育児している地域住民も少なくない。
- 住居と商業地域が重なる。その中で家庭の経済事情や文化事情、(日本も含め)国籍の異なる子どもたちが共生し、安心、安全に育つことができるよう、その基本となる食を確保し、交流、食育等をすすめる必要がある。
- 子育て支援に関する情報のさらなる周知が必要。

えん結び
元気いっぱい

- 認知症への正しい理解をさらに広める必要がある。認知症サポーター養成講座開催をうまく周知できていない。
- お店でも、認知症の方への適切な対応方法がわからず、困る事がある。
- 介護予防グループが活動できていない。

えん結び
元気いっぱい

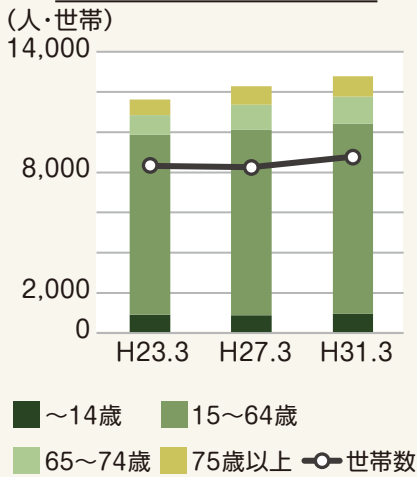
えん結び・・・見守り力を高める取組 元気いっぱい・・・健康づくりの取組

第1地区中部の統計データ

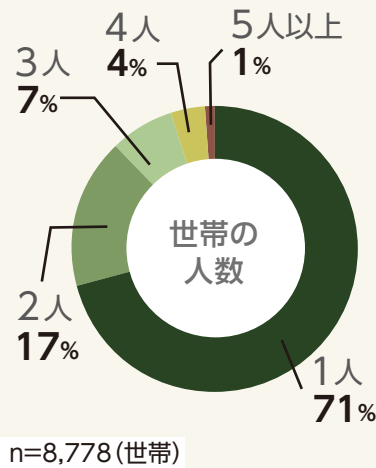
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	11,623	901	8,971	969	782	15.1	8,313	1.40
H27.3	12,284	887	9,237	1,234	926	17.6	8,255	1.49
H31.3	12,774	946	9,473	1,341	1,014	18.4	8,778	1.46

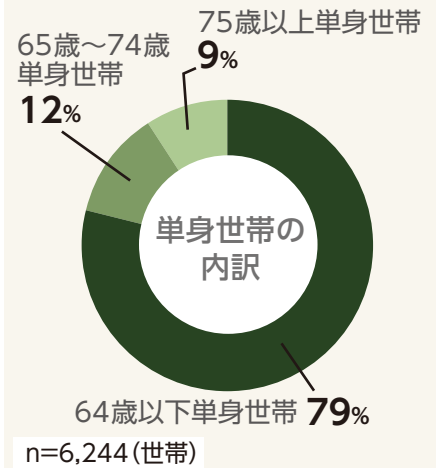
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)

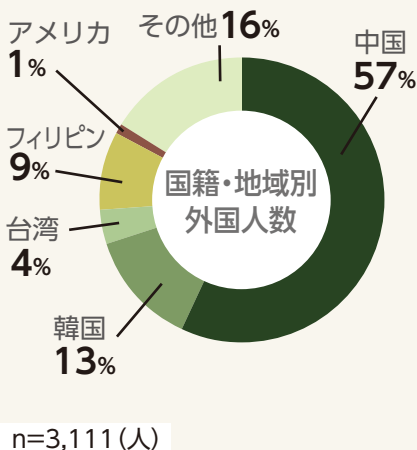


世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	8,626	6,022	69.8	707	523	271
H31.3	8,778	6,244	71.1	721	573	285
R2.3	9,172	6,638	72.4	738	604	302

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

地区内の外国人の状況 (H31.4現在)



国籍・地域	人数(人)	割合(%)
中国	1,780	57.2
韓国	404	13.0
台湾	143	4.6
フィリピン	269	8.6
アメリカ	23	0.7
その他	492	15.8

データから見た第1地区中部

総人口は増加しており、世帯数は平成27年にやや減少しましたが、その後、増加に転じています。単身世帯が総世帯の7割を占めており、単身世帯総数は、中区で一番多く、世帯平均人数は1.46人と区内では2番目に少なくなっています。また、単身世帯の8割は64歳以下が占めています。

高齢化率は18.4%と中区平均(23.4%)よりは、低くなっていますが、年々上昇してきています。

外国人数は、増加しており、人口に占める割合は23.7%と区内で一番高く、5人に1人以上が外国人です。町別では外国人の割合が50%を超えている町もあります。

外国人の国籍別では、中国が半数を超えていますが、韓国、フィリピンなども多く、その他の割合も多くなっています。



関内地区

5年後の目指す姿

「こんにちは」「コンニチハ」
笑顔が繋がるまち・関内



子ども防災ウォーク ▲



おしゃべりサロン ▲

関内地区はこんなまちです

横浜開港以来からの歴史のある街並みのある地域です。官公庁街や飲食店街、オフィスが多く、近年マンションが建築され、住民も増えてきています。山坂は少なく、昔ながらの建物も多く、観光スポットもたくさんある地区です。



相生町・太田町・尾上町・海岸通・北仲通・新港1丁目・新港2丁目・住吉町・常盤町・日本大通・弁天通・本町・真砂町・港町・南仲通・元浜町・横浜公園

nakanaka iinei!

これまでの計画(第3期)の振り返り

児童の保護者からの提案で、通学する子どもたちと親、地域の関係者が一緒に企画し、通学路で津波にあった際の避難場所を確認する「子ども防災ウォーク」が始まりました。津波の際の避難という住民の心配事が様々な人と共有され、新たな活動となりました。

「まちのクリーンアップ大作戦」として、関内地区の清掃活動を始めました。地域で活動していることが分かるようにお揃いのジャンパーで取り組みました。

「関内地区イベントカレンダー」を配布することで、関内地区で行われている様々な取組をお伝えし、人が集まるきっかけ作りが行われてきました。

第4期計画

目標	第4期の取組
<p>高齢者、子どもと子どもの保護者、障害のある方、外国人など様々な人とのつながりを作る取組をしていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 人が集まるきっかけ作りとなっている「関内地区イベントカレンダー」の取組を続けていきます。 ● 年代を超えて知り合うことができる「おしゃべりサロン」の取組を続けていきます。また、何気ない悩みなどを気軽に話せる場が増えるように取り組みます。 ● その時々課題を取り入れながら、「子ども防災ウォーク」の取組を続けていきます。
<p>企業、団体、学校や地域で活動している様々な人がつながって、交流する取組を行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● もちつき大会は、小・中学生も企画・運営に参加しています。子どもから大人まで地域の人が集えるイベントとして続けていきます。 ● 子どもから大人まで集まる場所となるよう、地域食堂に取り組みます。 ● 地域で活動している人同士が、知り合う機会を作っていきます。 ● 企業等と連携して「まちのクリーンアップ大作戦」を続けていきます。 ● 夏休み子どもラジオ体操やバーンゴルフは、体を動かしつつ多世代交流ができる健康づくりの取組として続けていきます。
<p>若い人も高齢者もみんなが自分の健康について考え、時には一緒に健康づくりに取り組んでいきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 北仲第2公園ラジオ体操のような定期的に開催する健康づくりの取組を続けていきます。 ● 脳と体の健康づくりの活動である「いきいきルンルン」を続けていきます。 ● 保健活動推進員が中心となって毎月1回ノルディックウォークに取り組みます。 ● 食を通して健康を考えると共に、人とのつながりができるような取組を始めます。 ● 健康を目的としていない集まりでも健康ミニ講座を実施し、全ての世代の人が健康を考えるきっかけを作ります。

第4期計画はこのようにつくりました

地区社協や民生委員、主任児童委員、保健活動推進員などで構成する「関内地区中なかいいネ!推進会議」で、2か月に1度、話し合いながら作りました。



nakanaka photo

取り組む理由

視点

- 新たな住居・住人が増えている中で、人が集まり知り合うきっかけを作りたいという声がありました。
- コロナ禍でも赤ちゃん訪問員や民生委員への訪問希望の声が多くあり、人と人のつながりが欠かせないことが分かりました。
- 地域活動に関わり続けることが難しい方も、子どもの時期や子育てをしている時期の一時でも地域活動に関わり、地域を知ること、何かあった時に助けを求めやすくなり、孤立予防につながります。

えん結び

- 学校関係者からも子どもたちが地域とつながれるイベントが大切であるとのご意見がありました。
- 住居以外に企業や商店も多い関内地区。様々な組織と交流しながら活動を広げている可能性があります。
- 地域で活動している人同士のお互いの顔はまだまだ見えにくい現状があります。

えん結び

- 健康については、若い人から高齢者まで考えてほしいことです。
- 一人暮らしの人の食生活が心配です。
- ノルディックウォーク等、生活習慣として継続的に運動に取り組む人が増えてきたので、今後も運動の取組を継続していきたいです。

えん結び
元気いっぱい

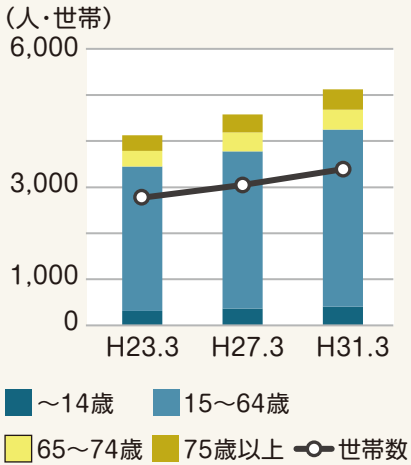
えん結び…見守り力を高める取組 元気いっぱい…健康づくりの取組

関内地区の統計データ

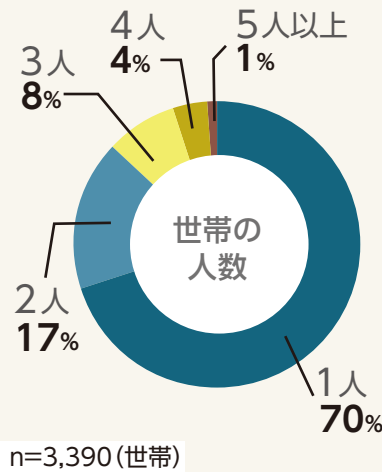
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	4,122	317	3,130	337	338	16.4	2,771	1.49
H27.3	4,575	361	3,413	410	391	17.5	3,043	1.50
H31.3	5,125	407	3,840	435	443	17.1	3,390	1.51

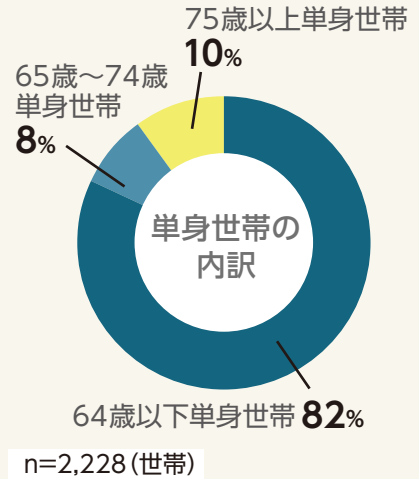
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)



世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	3,267	2,124	65.0	160	211	158
H31.3	3,390	2,228	65.7	174	220	156
R2.3	3,763	2,364	62.8	199	226	173

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

住民の居住年数

(H27 国勢調査より)

居住年数	人数(人)	割合(%)
出生時から居住	153	3.1
1年未満	550	11.2
1年以上5年未満	968	19.8
10年以上20年未満	884	18.0
20年以上	192	3.9
居住期間「不詳」	1,501	30.6

地区内の外国人数

(中区外国人数基礎調査より)

調査年	外国人数(人)	外国人比率(%)
H28.4	270	5.9
H31.4	339	6.6

データから見た関内地区

人口、世帯数とも年々増加しており、平成23年に比べ1.2倍となっています。勤労世代の人口割合が75%を占め、高齢者の割合は17.1%と区内では一番少ない地区です。

世帯構成をみると、7割が単身世帯で4人以上の世帯は5%に過ぎず、単身世帯の8割は勤労世代であり、その数は増加しています。住民の居住年数では出生時から住んでいる割合は3%と少なく、他地域から流入してきた住民がほとんどであることがわかります。

住民の多くはマンション、集合住宅に居住しており、今後も新たな集合住宅の建設により、人口、世帯数とも増加傾向が続くと思われます。

地区内の外国人数が少なく、割合は高くはありませんが、増加傾向がみられます。



埋地地区

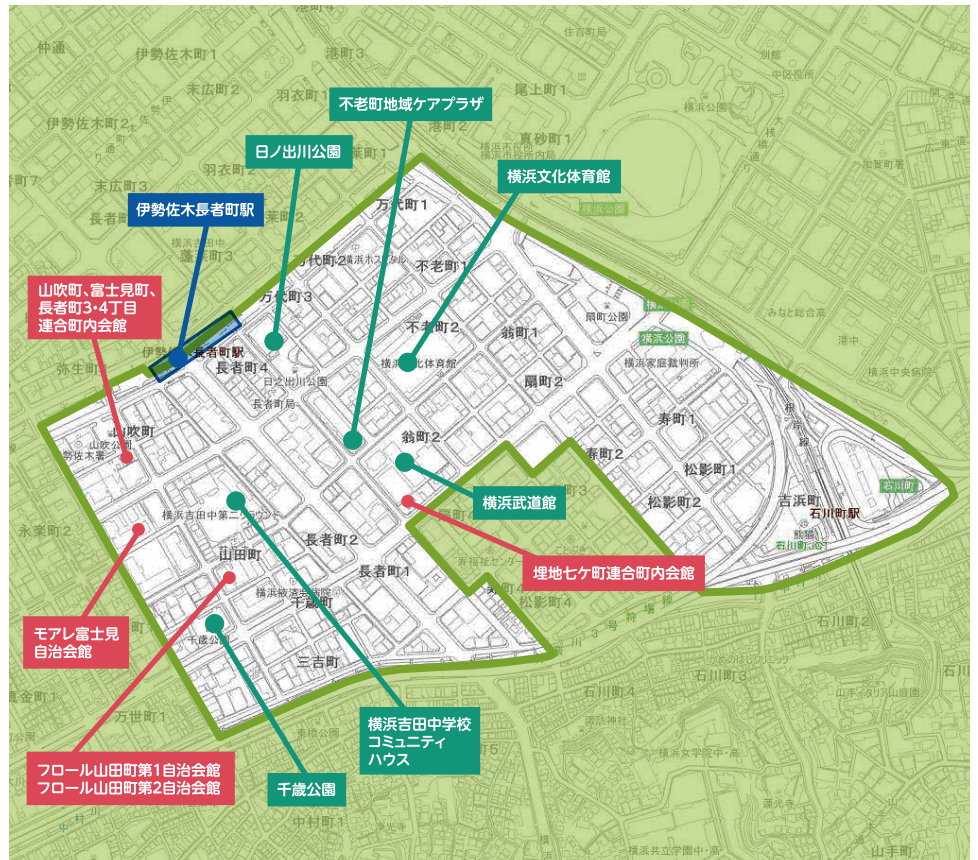
5年後の目指す姿

みんなが集う“夢”や“希望”が持てるまち



埋地地区は こんなまちです

今から約350年前、吉田勘兵衛氏による干拓事業により埋め立てられた地であることが、地区の名前の由来になっています。集合住宅と商業系ビルが林立し、交通の便が良く、暮らしやすい町です。また、新アリーナ、大学キャンパスの設置も予定されており、新たな魅力も加わります。近年、単身世帯数、外国籍居住者数の増大などがあり、顔のみえる関係づくりのための取組を進めています。



翁町・千歳町・万代町・富士見町・不老町・山田町・山吹町・吉浜町・扇町・寿町・長者町・松影町・三吉町の一部



これまでの計画(第3期)の振り返り

イベントや防災訓練を多言語で周知し、外国人も参加しやすいようにしました。

多言語による周知に取り組むことで、子どもや外国人のイベント参加が増え、様々な人たちの交流の場が増えました。

ラジオ体操では、子どもがお手本になり活躍してくれました。

新たな掲示板が設置され、地区の活動を周知する機会が増えました。

第4期計画

目標	第4期の取組
幅広い年代、様々な国籍の人同士が顔見知りになり、つながることができるまちにしていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ● もちつき大会等を通して、地域に関わる人同士の交流を深めます。 ● 幅広い世代が楽しんで交流できる「埋地さろん」の取組を続けていきます。 ● 近所の人と顔見知りになることが、いざという時の助け合いにつながることを様々な場で伝えていきます。 ● 防災訓練やイベントの開催を多言語でお知らせしていきます。 ● 外国人と交流を図ることを目的とした講座(外国語を学ぶ教室等)の開催を検討します。
住民同士の交流の場を活用し、健康に対する意識を高めていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ● まちの歴史や伝統を知ることができ、様々な人と交流を深められる「歩け歩け大会」を続けていきます。 ● 誰でも参加でき、様々な人が一緒に健康づくりに取り組めるラジオ体操を続けていきます。 ● 「埋地さろん」等の人が集まる場で健康に関する情報を伝えていきます。 ● 認知症予防を含めた介護予防の取組を進めます。
企業・学校等に地域のイベントを通じた交流を働きかけていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在取り組んでいる「昔遊び」を充実させ、子どもに関する取組を学校や企業と共に取り組みます。 ● 地域には小・中学校はありませんが、地域の子どもたちが通う学校とのつながりがもてるよう検討します。

第4期計画はこのようにつくりました

連合町内会、地区社協、民生委員・児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員等で構成される「埋地地区中なかいいネ!推進会議」で、2か月に1度話し合っって作りました。計画作成にあたり、地域の良いところや、困りごとについて意見を出し合い、今後の地域の取組を考えました。

nakanaka photo



取り組む理由

視点

- 集合住宅が多く、地域活動への参加率が低い。
- 閉じこもりがちな人が出かけられる場が必要。
- 地域に関心を持つきっかけになる集まりがあるとよい。
- 外国人が多いため、交流することでお互いを理解し合えるとよい。(なか国際交流ラウンジとの協力も継続する)
- 外国人の参加を待つだけではなく、積極的に交流する場も必要。
- 中学生が参加できる活動も必要。

えん結び

- 外国人が多いので交流することでお互い理解し合える健康づくりの取組があるとよい。
- 要支援者が多い地域なので、高齢者の介護予防の取組が必要。
- 誰もが参加できているラジオ体操等の活動を活かしていく。

元気いっぱい

- 企業・商店が多い地区であるため、活動や行事を一緒に取り組める関係性がもてると良いのではないかと。
- 「子どもの遊ぶ場所が少ない」、「子どもに様々な体験をさせてあげたい」との意見がある。
- 小学校は南区、中学校は第一地区中部となるため、学校との連携が難しい。

えん結び
その他

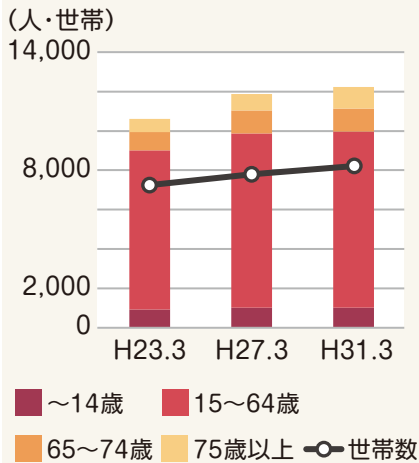
えん結び・・・見守り力を高める取組 元気いっぱい・・・健康づくりの取組

埋地地区の統計データ

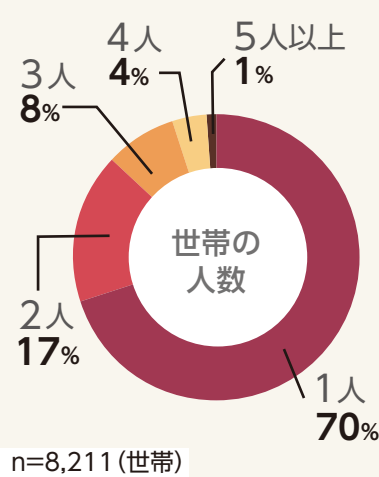
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	10,609	929	8,089	928	663	15.0	7,247	1.46
H27.3	11,884	1,027	8,845	1,168	844	16.9	7,803	1.52
H31.3	12,229	1,011	8,954	1,175	1,089	18.5	8,211	1.49

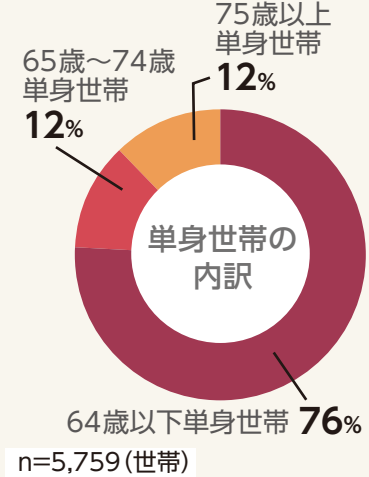
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)

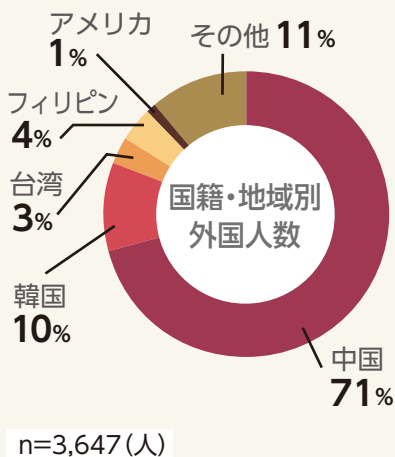


世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	8,014	5,479	68.4	690	586	231
H31.3	8,211	5,759	70.1	687	674	255
R2.3	8,278	5,828	70.4	686	705	282

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

地区内の外国人の状況 (H31.4現在)



国籍・地域	人数(人)	割合(%)
中国	2,582	70.8
韓国	353	9.7
台湾	129	3.5
フィリピン	156	4.3
アメリカ	36	1.0
その他	391	10.7

データから見た埋地地区

人口、世帯数とも増加しています。15～64歳の人口割合は71%を占めています。また、単身世帯の割合も高く、勤労者の単身世帯が多い地域です。

高齢化率は18.5%と区平均の23.4%を下回っていますが、年々増加してきています。また、要介護認定率も23.9%と高くなっています。

外国人数は3,647人と区内では一番多く、その割合も約2割となっており、地区内の5人に1人が外国人となっています。国籍・地域別では、中国が7割ですが、韓国、台湾、フィリピン等、多国籍の住民が多くなっています。外国人の割合が5割を超えている町もあります。



寿地区

5年後の目指す姿

寿に住んでいる、寿で育ったと、堂々と言えるまち
～寿はたがいに受け止め合い支え合う～



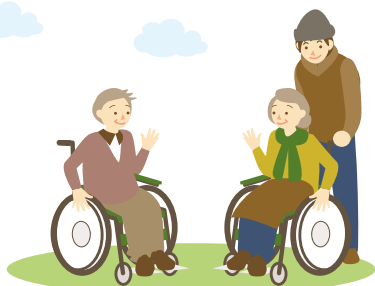
七夕まつり ▲



みんなの運動会 ▲

寿地区はこんなまちです

寿町を含む約0.06km²の範囲に120軒以上の簡易宿泊所が密集している地域で、約5,700人が宿泊しています。最盛期には、8,000人以上の労働者達でにぎわった寿地区も住民の高齢化と生活保護を受給する人が増加し、「福祉ニーズの高いまち」へと変容しています。令和元年には、横浜市寿町健康福祉交流センターがオープンし、高齢化に対応した交流や防災の取り組みを進めています。



扇町・寿町・長者町・松影町・三吉町の一部

これまでの計画(第3期)の振り返り

「コトブキンちゃんのとてくてく健康マップ」の作成は、健康づくりのための基本となるウォーキングと健康のバロメーターにもなる血圧測定、困ったときの相談窓口を総合した内容で、大変効果的な啓発媒体となりました。作成過程では、子どもの頃から寿町に慣れ親しんできた若い世代との共同作業による交流も生まれました。

みんなの運動会等の季節ごとのイベントは、多世代交流の場となり、地域の連帯感や団結力が深まりました。

久保山納骨堂や千秋の丘への慰霊は、寿地区と故人のつながりを保ち続けることであり、現在住む人々の安心感にもつながっていきます。

住民が手軽に情報を発信し、入手できる掲示板を設置しました。

第4期計画

目標	第4期の取組
<p>住んでいる人、住んでいた人、働く人、訪れる人などまちに関わる人が人とのつながりを感じられるまちにします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● まちの中で気軽に人とつながることが出来る場所や取組を多様にすることで、ひとりひとりが居心地の良さや生きがいを感じられるようにします。 ● つながりの場の運営者同士もネットワークを持ち、取組情報を共有します。 ● 寿地区に暮らす人のつながりを絶やさぬよう、久保山納骨堂や千秋の丘への慰霊を続けます。 ● ゆめ会議等、寿地区に関わる子ども、高齢者、障害者、働く人の現状を共有し、支えあうまちづくりを進めます。
<p>日常的な健康づくりを続けると共に、認知症等の病気になっても住みやすい地域づくりに取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 第3期計画で作成した「コトブキンちゃんのとてくてく健康マップ」の更新を検討していきます。 ● ラジオ体操などの習慣的な健康づくりの取組を続けていきます。 ● 認知症の理解と予防について啓発を進めると共に、認知症になっても暮らし続けられるまちになるよう、人とのつながり作りを中心に取組を考えていきます。
<p>寿地区に関わる人に地区のことや役立つ情報を伝えていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 掲示板に寿地区での取組や健康のことなど役立つ情報を掲示します。 ● 病気や障害、防災等の寿地区に関わる人が知っている良い情報を集め共有していきます。

第4期計画はこのようにつくりました

自治会や地区社協、民児協など地域に関わる人が集まる「ゆめ会議」(毎月開催)で、意見交換をしながら作りました。

!! nakanaka photo



マスク着用啓発キャンペーン



ことぶき福祉まつりの大太巻き



取り組む理由

視点

- コロナ禍ということもあり、気軽に話したり、のんびりしたりできる交流の場や取組が減ってきていると感じる。交流は、心の健康にもつながるので、様々な場があるとよい。引きこもりがちな人もいて心配がある。
- 困りごとを抱える人が、一時的に駆け込める場所も必要。
- 様々な人が関わり、「寿地区」を作っている。

えん結び

- 運動不足になりやすい状況が多く、日常的な運動習慣が必要。
- 健康づくりには、早期に相談や治療をすることが大切。
- 住民の高齢化が進み、認知症の方が増えてきていると感じる。道で迷っている人も見かけることがある。

元気いっぱい

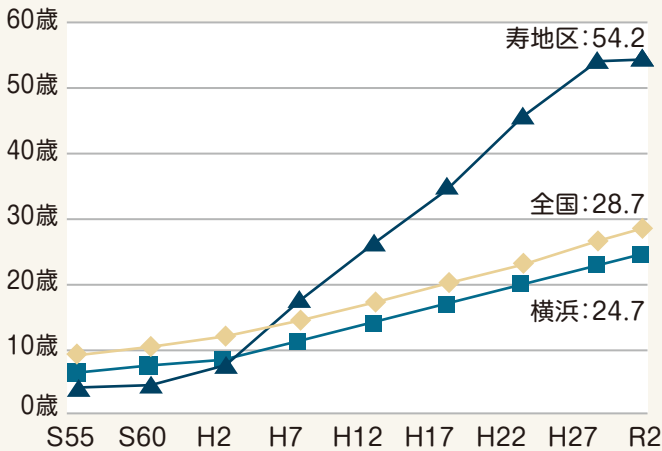
- 第3期計画で設置した掲示板をもっと活用したい。
- 地区で行われている様々な取組を知らない人もいる。
- 住民の健康意識が高いので、相談場所や健康に関する正確な情報を伝えられると一人一人の健康づくりが進むのではないかな。

えん結び
元気いっぱい

えん結び・・・見守り力を高める取組 元気いっぱい・・・健康づくりの取組

寿地区の統計データ

65歳以上人口比率(高齢比率)の推移



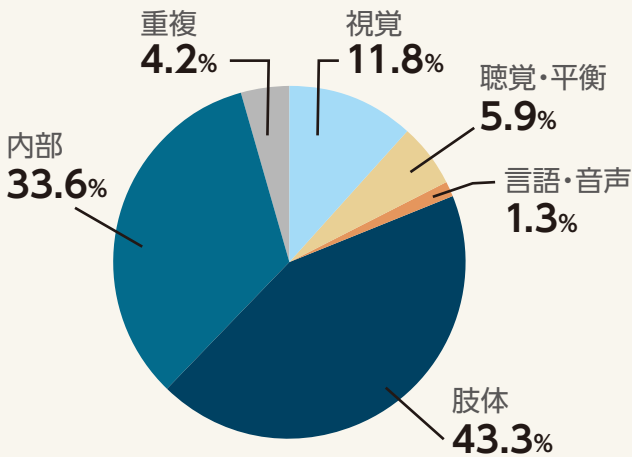
令和2年 要介護者数調査の結果

区分(介護度)	要介護(人)	要支援(人)	計(人)
5	45		
4	82		
3	186		
2	323	120	
1	175	56	
計	811	176	987

うち65歳以上計 911人

令和2年 障害種別内訳の割合

1～3級身体障害者手帳保持者 238人の内訳



データから見た寿地区

令和2年11月時点で簡易宿泊所に5,859人が宿泊しており、ほとんどが単身世帯です。

高齢化率は50%を超えており、そのスピードは全国、横浜市全体を大きく上回り、平成に入ってから急激に高齢化が進んでいます。高齢者の中でも75歳以上が3割以上を占めています。

要介護認定を受けている住民は987人で、高齢者全体に占める割合は 28.6%となっています。また、1～3級の身体障害者手帳保持者は238人です。要介護者や障害のある住民も多い「福祉二 zonesの高いまち」といえます。(データ出典:「横浜市寿福祉プラザ相談室令和2年度業務概要」)

寿地区 ちょっと紹介

アンケートを実施したり地区のウォーキング・生活マップを作ったりしています



5年後の寿町が
どんなまちになってほしい?
アンケート

☆ごあいさつ
寿町では毎月、寿町にかかわっている事業者の方や寿町を訪問している福祉施設の方などで、若狭区で、できることを話し合ったり、情報共有したりする「ことばのつみ」が行われています。
最近、新しい住民の方や新しい世代の方が行き来するようになり、改めて会議で話し合うことを考えていきたく、アンケートをする運びとなりました。ぜひ、ご協力をお願いします。

- ☆今までのとりこみ
- ① 住友さんが気軽に健康相談できるようになるという。
→ 相談しやすい場所・時間を設け、お散歩を楽しみながら通えるような施設を作りました。
 - ② 防犯や健康など寿町の方の生活の質や福祉に関心がある。
→ 若狭公園、館でも使える掲示板を実験的に設置しました。

アンケートは無料で、
答えられることを書いていただければ幸いです。

石川打越地区

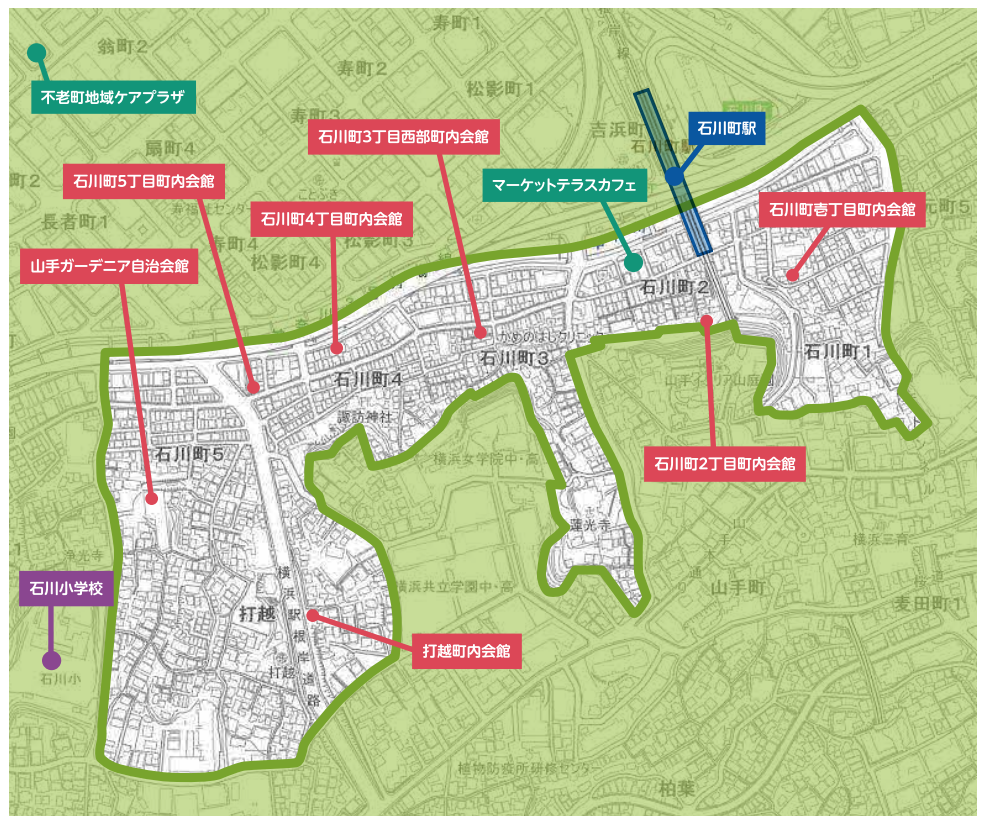
5年後の目指す姿

住んでいる皆さんの支え合いや、助け合いが活き、
幸せだなあと感じられるまち



石川打越地区は こんなまちです

住宅地、商業地として発展してきた地区。通りを歩けば親しみやすい下町風情が感じられます。地域の結びつきが強く、地域活動が活発に行われています。地藏坂、牛坂、遊行坂など、急な勾配が多く坂のまちの一面もあります。



石川町・打越

nakanaka iinei

これまでの計画(第3期)の振り返り

健康会食会、ふれあいサロン、老人クラブ、バス旅行等の様々な活動を通じて地域住民の交流や見守りを進めてきました。

第2期計画から発行したイベントカレンダーは、発行を継続しており、より充実した内容となりました。地域の行事や活動内容を周知し、新たな参加者の増加に繋がりました。

第3期計画の初年度にあたる平成28年から夏休みのラジオ体操を開催し、年々、参加者が増え、子どもから高齢者までの幅広い世代の方が参加し、地域の子どもと顔の見える関係づくりが進んでいます。

第4期計画

目標	第4期の取組
事業を通し、人々の繋がりを作り、健康寿命を伸ばします	<ul style="list-style-type: none"> ● 見守り交流事業である「健康会食会」、「ふれあいサロン」、「ほっと石打」、「スイーツ会」の開催を増やし、住民の繋がりづくり、健康づくりの機会を増やします。 ● 特に「スイーツ会」に重点目標をおき、老人会、保健活動推進員、友愛活動推進員の活動場所とします。 <p>具体的計画 (年間の実施回数と参加・利用人数の目標)</p> <p>①健康会食会…年6回/各50人 ②ふれあいサロン…年12回/各25人 ③ほっと石打…年12回/月1件 ④スイーツ会…年12回/各15人</p>
地域の大人と子どもの交流から、大切な絆を作ります	<ul style="list-style-type: none"> ● 交流事業(観劇会・ラジオ体操)については、参加者の倍増を目標とします。 ● ラジオ体操については、地理的な条件に課題があり、今後検討していきます。 ● 納涼フェスタを今期の重点とし、子どもの関係機関や商店街と協力して子どもを中心に世代間交流を進めていきます。 <p>具体的計画 ①バス旅行…年1回/100人 ②観劇会…年1回/70人 ③納涼フェスタ…年1回/200人 ④ラジオ体操…年7回/各50人</p>
防災は、自助、共助、公助から	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民の消火活動、防災拠点運営の充実を目指します。日々の防災に対する認識に加えて、室内における災害対策(家具転倒防止、感電ブレーカーの設置など)の充実を推奨していきます。 ● 商店街の防災訓練参加の協力をすすめます。 ● 防災拠点運営の班編成の変更など5か年計画を試作します。 <p>具体的計画 ①拠点運営…年1回/120人 ②防災フェスタ…年1回/100人 ③危機管理委員会…年1回/10人</p>
地域の情報を住民にもれなく届けます	<ul style="list-style-type: none"> ● 現状の広報活動を維持し、いろいろなテーマの記事を掲載していきます。 <p>具体的計画 ①イベントカレンダー…年4回発行/2000枚 ②広報いしうち…年4回発行/2000枚 ③防災マップ</p>

第4期計画はこのようにつくりました

連合町内会、地区社協、民生委員・児童委員、スポーツ推進委員、青少年指導員等で構成される「石川打越地区中なかいいネ!推進会議」で意見交換をし、作業部会(計3回)と全体会(計2回)を開催し、アドバイザーの意見も取り入れ、長期計画と5か年計画を策定しました。



取り組む理由

視点

- 見守り・交流事業には具体的な数字の目標を設定しました。
- 「スイーツ会」の運営については、今後皆さんの意見をいただいて、充実した内容を検討する必要があります。
- 「ほっと石打」について、今後一緒に検討していきます。
- 新たに老人会や保健活動推進員、友愛活動推進員が活動する場所を考える必要があります。

えん結び
元気いっぱい

- 商店街の裏フェスと町内会の夏祭りに絡んだイベントや、数少ない子どもを中心とした内容に取り組みます。
- 盆踊りの常設に向け、様々な課題の検討が必要です。
- 子どもを主としたイベントの開催を増やし、親子3世代の交流の場を増やす必要があります。
- 新たに高齢者も参加できるように、運動会やアスレチック・ゲームの開催を取り入れます。

えん結び
元気いっぱい

- 屋内における防災対策が不透明なため、感震ブレーカーや家具倒壊防止器具設置の推奨を図る必要があります。

その他

- 地域の情報を住民間で、共有できる広報体制が必要です。

えん結び
元気いっぱい

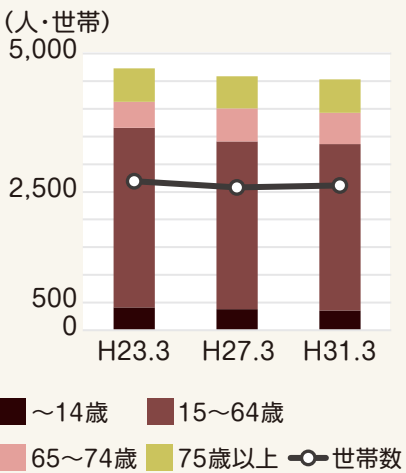
えん結び・・・見守り力を高める取組 元気いっぱい・・・健康づくりの取組

石川打越地区の統計データ

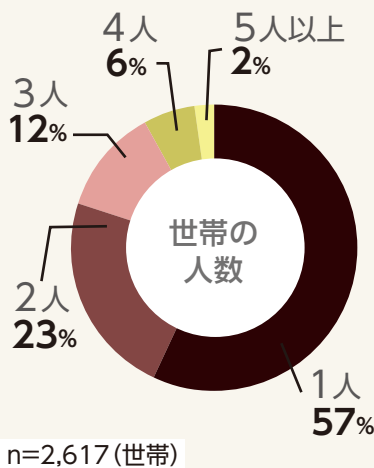
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	4,732	410	3,246	472	604	22.7	2,693	1.76
H27.3	4,589	382	3,031	595	581	25.6	2,581	1.78
H31.3	4,533	359	3,004	565	605	25.8	2,617	1.73

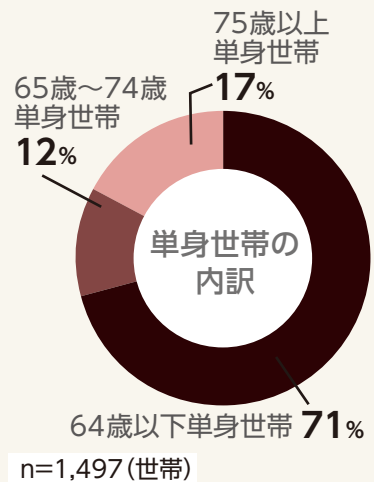
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)



世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	2,603	1,456	55.9	186	244	189
H31.3	2,617	1,497	57.2	175	263	199
R2.3	2,665	1,570	58.9	187	265	193

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

住民の居住年数

(H27 国勢調査より)

居住年数	人数(人)	割合(%)
出生時から居住	522	11.9
1年未満	197	4.5
1年以上5年未満	555	12.6
5年以上10年未満	455	10.3
10年以上20年未満	673	15.3
20年以上	1,020	23.2
居住期間「不詳」	977	22.2

地区内の外国人数

(中区外国人数基礎調査より)

調査年	外国人数(人)	外国人比率(%)
H28.4	383	8.4
H31.4	460	10.2

データから見た石川打越地区

人口は全体として減少傾向にあり、特に64歳以下の人口が減少しており、子どもの数も減少しています。反面、高齢者の人口は、やや増加しており、高齢化率も25.8%と年々高くなっています。

高齢者の単身世帯は、単身世帯全体の約3割を占め、高くなっています。また、65歳以上の2人世帯も多くなっています。

居住年数を見ると、20年以上の割合が高く、古くからこの地域に住んでいる住民が多いことがわかります。

外国人数は増加しており、全体の1割以上を占めていて、14歳以下の人口より多くなっています。

第2地区

5年後の目指す姿

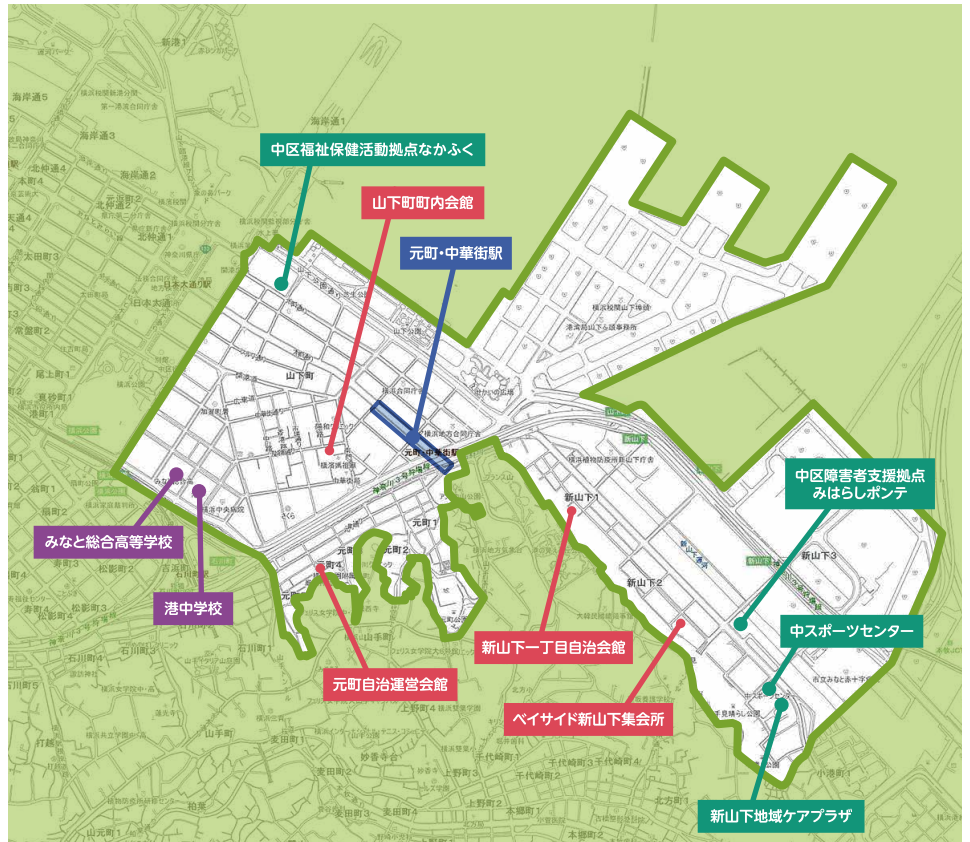
多様な年代、国の人々がいきいきと暮らす
豊かで賑わいあるきれいなまち



第2地区は こんなまちです

元町商店街や中華街、山下公園などの観光地があり、開港の歴史や国際色豊かな文化が息づき、外国人も多く暮らしています。地域では異世代間の交流も盛んで、夏祭りなどでは子どもたちも活躍しています。

ふれあいサロンにおける高齢者の見守りや、健康づくりの活動も活発に行われています。



新山下一丁目・新山下二丁目・新山下三丁目・元町・山下町

nakanaka iinei

これまでの計画(第3期)の振り返り

ふれあいサロンを毎週実施し、敬老会やクリスマス会と活発に活動しました。また、利用者アンケートを実施し、開催方法の見直しと充実につなげました。

まちぐるみの健康活動等、健康づくりに率先して取り組みました。

外国人も住みやすいまちを目指し、多文化交流会の開催や夏祭り等の多言語広報に取り組みました。

夏祭りや餅つきに、若い世代を含め多くの方々が参加し、活躍できるよう工夫しました。

子育てや生活困窮など様々なテーマで勉強会を開催し、意見交換をしました。

第4期計画

目標	第4期の取組
<p>子どもから高齢者まで様々な世代がつながり支え合うまちにします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ふれあいサロンや食事会などの集いの場所を大切に、参加者である高齢者と担い手がゆるやかに見守りあえる活動を続けていきます。 ● ひとり暮らしの高齢者を見守り支援につなげるしくみづくりや、見守りキーホルダーの普及を広げます。 ● みはらしポンテとの連携・交流、認知症サポーター養成講座などにより、障害や認知症について理解を広げます。 ● 夏祭りに向けた太鼓・盆踊りの練習、餅つき、山下町おとなりサンデーなどを通して、子どもや子育て世代を巻き込んでいきます。
<p>健康づくりの取組で地域の交流を広げます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ふれあいサロンの健康講座、ラジオ体操、健康麻雀、太極拳など、地域での多彩な健康づくりの取組を続けていきます。
<p>外国人も暮らしやすいまちづくりを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● なか国際交流ラウンジ「にじいろ探検隊」との連携を継続し、夏祭り等の行事の多言語広報などを進め、外国人の更なる地域参画を促します。 ● 多文化交流会の開催を通して、顔の見える関係づくりを進めます。
<p>きれいで安全、活気あるまちづくりを地域ぐるみで進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 新山下運河の花いっぱい運動や近隣企業と連携した活気づくり、中華街クリーンアップ、各公園愛護会やハマロード・サポーター、通学路沿いの清掃など、自治会にとどまらず幅広く参加者を巻き込んだ取組を通して、まちをきれいにし、活気づけていきます。 ● 消防団活動や防災訓練への参加を一層広げます。

第4期計画はこのようにつくりました

偶数月の第4金曜日に「第2地区中なかいいネ! 推進会議」を定例で開催し、地区社協メンバーを中心に話し合いや情報交換を重ね、新たな取組も盛り込みました。

また、5年前に定めた目標の取組状況をアンケート形式で収集・把握することで第3期計画を振り返り、第4期計画の策定につなげました。



nakanaka photo



取り組む理由

視点

- 住民の高齢化に伴い孤立死等も発生しており、見守りを通じた地域のセーフティネットを構築する必要がある。
- 高齢者の社会活動の促進や担い手との交流を進める。
- 次世代の担い手の育成が必要である。
- 障害者や認知症の方にやさしいまちづくりを進める必要がある。

えん結び

- 地域では多彩な健康づくりの取組が活発に行われており、交流と健康寿命の延伸に取り組む。

元気いっぱい

- 人口に占める外国人の割合が高いため、外国人の地域への参画、日本人と外国人との交流を促すことで、安心・安全で豊かな地域づくりにつなげる必要がある。

えん結び

- 開港のまちの特色に恵まれたエリアとして、豊かな環境と地域資源を生かし、賑わいある美しいまちづくりを進める必要がある。
- 来街者の多いまちとして、安全と美しさを守るために多世代の協力が不可欠である。

元気いっぱい
その他

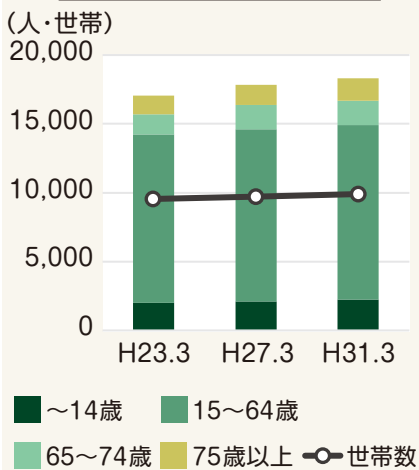
えん結び・・・見守り力を高める取組 元気いっぱい・・・健康づくりの取組

第2地区の統計データ

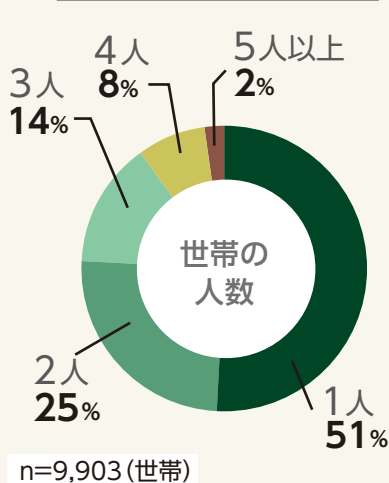
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	17,049	2,007	12,243	1,434	1,365	16.4	9,548	1.79
H27.3	17,836	2,093	12,527	1,756	1,460	18.0	9,719	1.84
H31.3	18,303	2,247	12,655	1,763	1,638	18.6	9,903	1.85

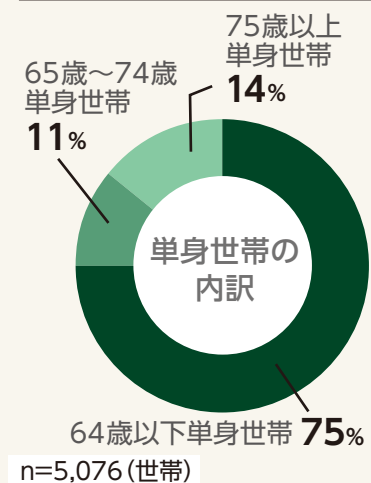
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)



世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	9,718	4,937	50.8	543	655	578
H31.3	9,903	5,076	51.3	562	692	609
R2.3	9,964	5,181	52.0	581	714	613

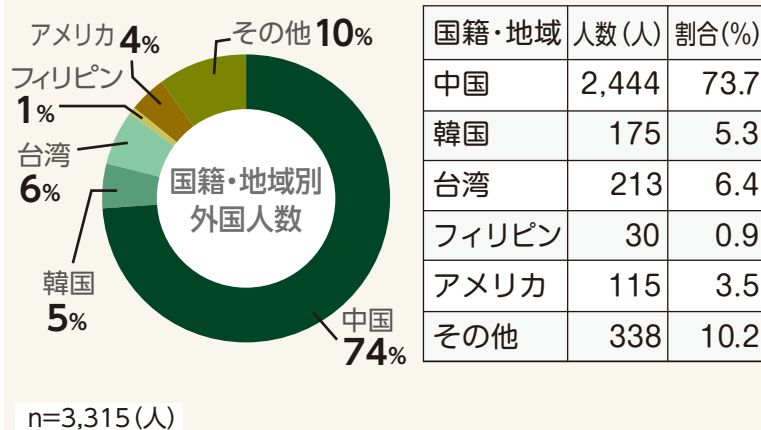
※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

外国人数の推移

(中区外国人数基礎調査より)

調査年	外国人数(人)	外国人比率(%)
H28.4	3,037	16.9
H31.4	3,315	18.1

地区内の外国人の状況 (H31.4現在)



データから見た第2地区

総人口、世帯数ともに増加傾向にあります。14歳以下の子ども数がやや増加しており、商業地が多い割には他地区に比べ子どもの割合も12.3%と高くなっています。

単身世帯の割合も高く、全世帯の半数以上が単身世帯となっています。

高齢化率は18.6%で中区平均(23.4%)を下回っていますが、高齢者の数は年々増加してきています。

外国人数は区内で2番目に多く、その割合も18.1%と高くなっています。外国人数、割合ともに増加傾向にあります。地区内に中華街があることも背景に、外国人の73.7%を中国籍が占めています。

第3地区

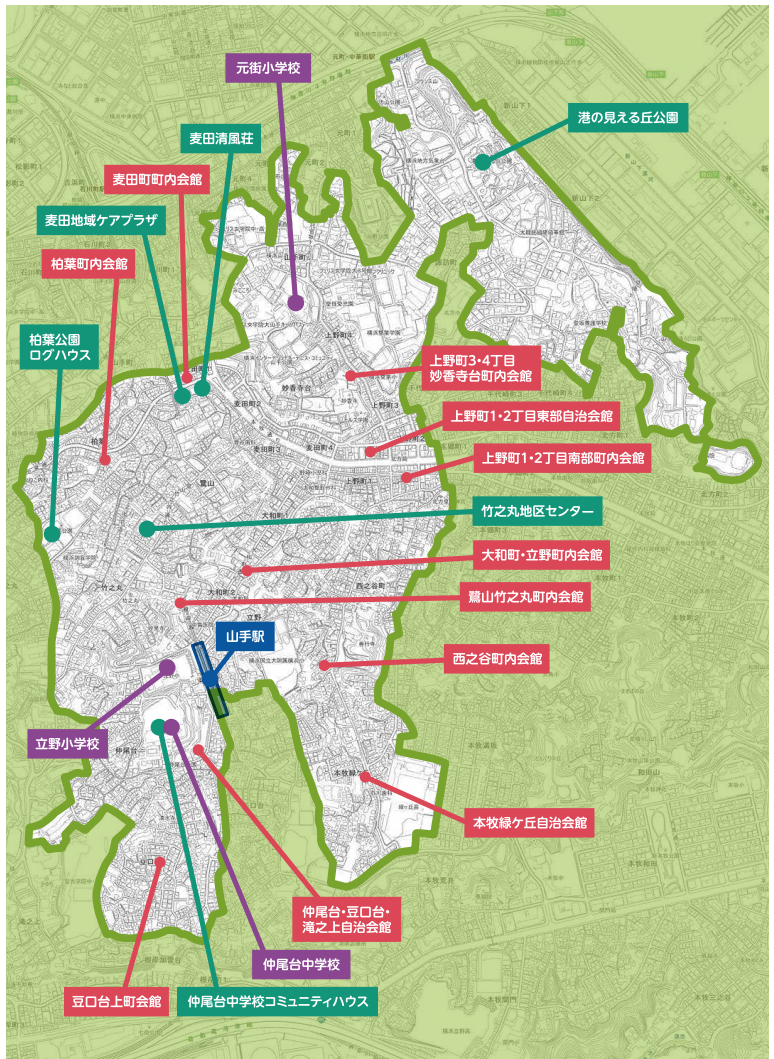
5年後の目指す姿

いろいろな世代が触れ合い、地域丸ごとのつながり強化で、
困りごとを解決できる第3地区



第3地区はこんなまちです

古き良き横浜の姿が今でも残る地域で、本牧通り沿いに商店が軒を連ね、その背後の丘陵地帯に住宅地が広がっています。長く住み続けている住民が多いため、少子高齢化が年々進み独居世帯も多くなっています。そのような中でも地域の繋がりを大切にして、ふれあいサロンや子育てサロン等福祉活動が多数活発に行われています。



上野町・柏葉・鷺山・竹之丸・立野・仲尾台・西之谷町・本牧緑ヶ丘・豆口台・妙香寺台・麦田町・大和町・滝之上・山手町の一部

これまでの計画(第3期)の振り返り

高齢者食事会・ふれあいサロン、子育てサロン等既存の事業継続に加え、平成30年10月より生活支援事業として、高齢者対象の「困りごと引き受け隊」事業が発足し、住民から好評を得ています。各自治会町内会でもサロンや健康クラブ等が盛んで、地域交流や健康づくりへの取組が活発に行われています。「元気づくりコンサート」も多世代に渡り好評を得ており、第3地区文化事業として定着してきています。運動会も58回を迎え、若いも若きも秋の一日を大いに楽しんでいます。

第4期計画

目標	第4期の取組
<p>こどもから高齢者まで、様々な世代のつながりと助け合いの機会を増やします</p>	<p>第3期までに取り組んだ事業を改善、継続していきます</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お楽しみ食事会(奇数月・第3水曜日) ● ふれあいサロン(毎月・第2木曜日) ● 西之谷読み聞かせ会(毎月・第1水曜日) ● むぎた子育てサロン(毎月・第4水曜日) ● 「困りごと引き受け隊」(常時依頼受付) ● 第3地区大運動会(10月第3日曜日) ● 第3地区元気づくりコンサート(10月第1日曜日) <p>身近な地域での「見守り・支え合い」活動を進め、定着を目指します</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地区社協の運営の課題の話し合い、基盤を強化 ● 自治会町内会単位での見守りの仕組みづくり <p>第3地区全体で運営体制の見直し整備を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多様な主体と連携・協働できるネットワークを作り、役割分担等を整備 ● 「身近な地域での見守り・支え合い活動」を進めるためのリーダーやサポーターの選出と育成、ボランティアの募集
<p>健康づくりの取組により、住民が元気で交流ができる第3地区にします</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自治会町内会別に、ラジオ体操がより交流の図れる場になるように取り組めます。 ● 色々なスポーツ等の同好者が集まって交流できるようにします。 ● 保健活動推進員主催の「第3地区歩こう会」をスポーツ推進委員、青少年指導員の協力も受け、第3地区の幅広い世代が参加できるようにします。
<p>地区社協や地区別計画を広く周知し、その実行のため第3地区のヨコの関係を強化します</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期的に会報を配布し、事業への参加を呼びかけるとともに、住民の福祉意識を深めます。 ● 新規事業の導入につながるよう、参画する方に必要な研修を行い、理解を深めます。

第4期計画はこのようにつくりました

地区社協や自治会町内会長、民児協、ボランティアグループなどの代表で構成される「中なかいいネ! 第3地区プロジェクトチーム」を中心に、令和元年度に3回、令和2年度に2回のプロジェクト会議に加え、勉強会なども開催しながら作りました。

nakanaka photo



取り組む理由

視点

- 高齢者・子ども・保護者・障害者等とのつながり・見守りを図るため
- 地区社協の目的である一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくりを目指すため
- 居場所や交流事業の継続のため

- 新たな福祉・生活課題が増えているため、行政を中心とした的確な対策とともに、問題が深刻化する前に身近な地域で早期に発見し、予防的な視点も含めてサポートする総合的な体制が必要となっており、地域住民の参加と協力が不可欠となっているため

- 自治会町内会単位で「身近な地域での見守り・支え合い活動」に取り組みやすい環境を作るため

- ロコモティブシンドローム予防のため
- スポーツを通して地域の交流を進めるため

- 地域住民に第3地区福祉保健計画を知ってもらい、ボランティア等で関わる方を増やすため
- 第3地区内のイベント等を周知し、住民の参加を増やすため
- 自治会町内会長、民生委員児童委員等を中心に第4期計画の理解を促し、運営を強化するため

えん結び

元気いっぱい

その他

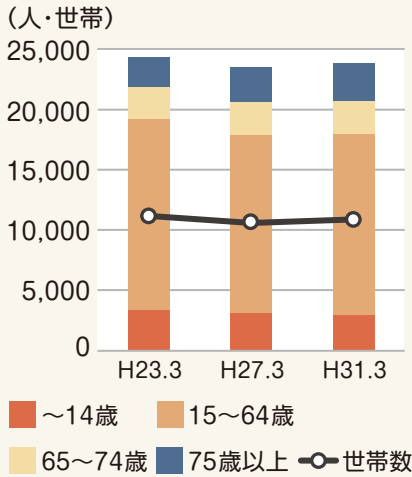
えん結び・・・見守り力を高める取組 元気いっぱい・・・健康づくりの取組

第3地区の統計データ

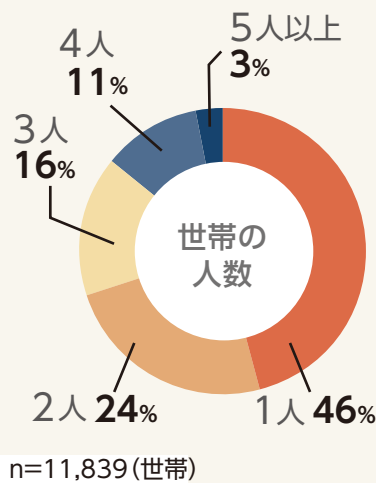
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	24,380	3,224	15,879	2,487	2,790	21.6	12,605	2.02
H27.3	23,502	2,988	14,909	2,737	2,868	23.8	11,389	2.06
H31.3	23,795	2,928	15,210	2,626	3,031	23.8	11,839	2.01

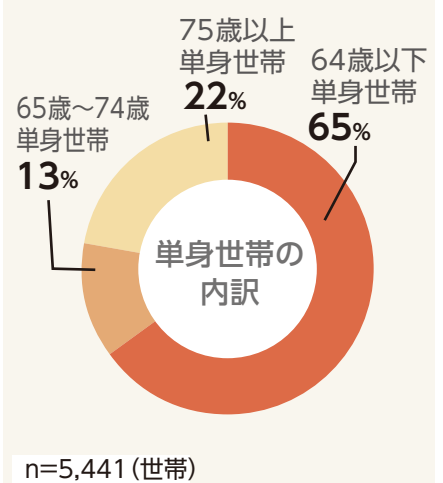
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)



世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	11,594	5,162	44.5	674	1,206	1,040
H31.3	11,839	5,441	46.0	689	1,222	1,030
R2.3	12,030	5,691	47.3	710	1,221	1,039

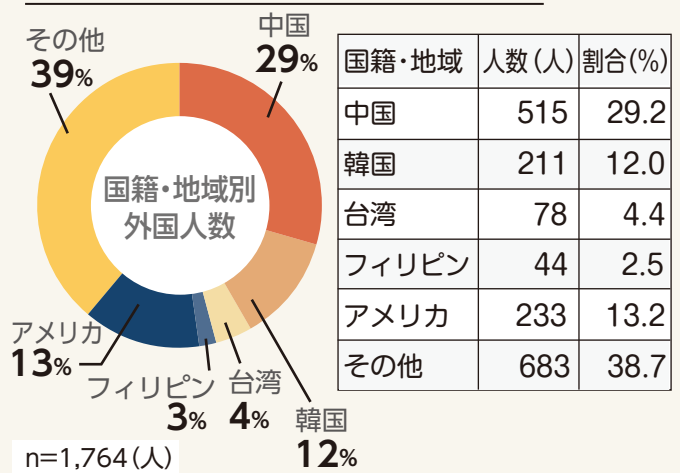
※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

地区の要介護高齢者の状況 (R2.9現在)

	高齢化率(%)	要介護認定率(%)	要支援の割合(%)	要介護の割合(%)
第3地区	23.93	21.94	4.19	17.75
中区平均	23.00	21.80	4.82	16.99
市平均	24.11	19.57	5.59	13.98

出展:横浜市健康福祉局資料

地区内の外国人の状況 (H31.4現在)



出展:中区外国人人数基礎調査より

データから見た第3地区

人口、世帯数とも区内で2番目に多い地区です。総人口、世帯数は減少傾向にありましたが、近年はやや増加に転じています。特に75歳以上の高齢者が増加しており、高齢化率も中区平均(23%)より高く、75歳以上の単身世帯も1,200世帯を超えています。また、65歳以上の二人暮らしの割合も他地区に比べ高くなっています。

要介護認定率も約22%となっており、人口も多いことから、介護を必要とする高齢者の数が多いことが分かります。

地区内の外国人の割合は8%程度ですが、他地区に比べて、米国、その他の国・地域の割合が高いことが特徴です。

第4地区南部

5年後の目指す姿

声がかけあえるまち
第4地区南部



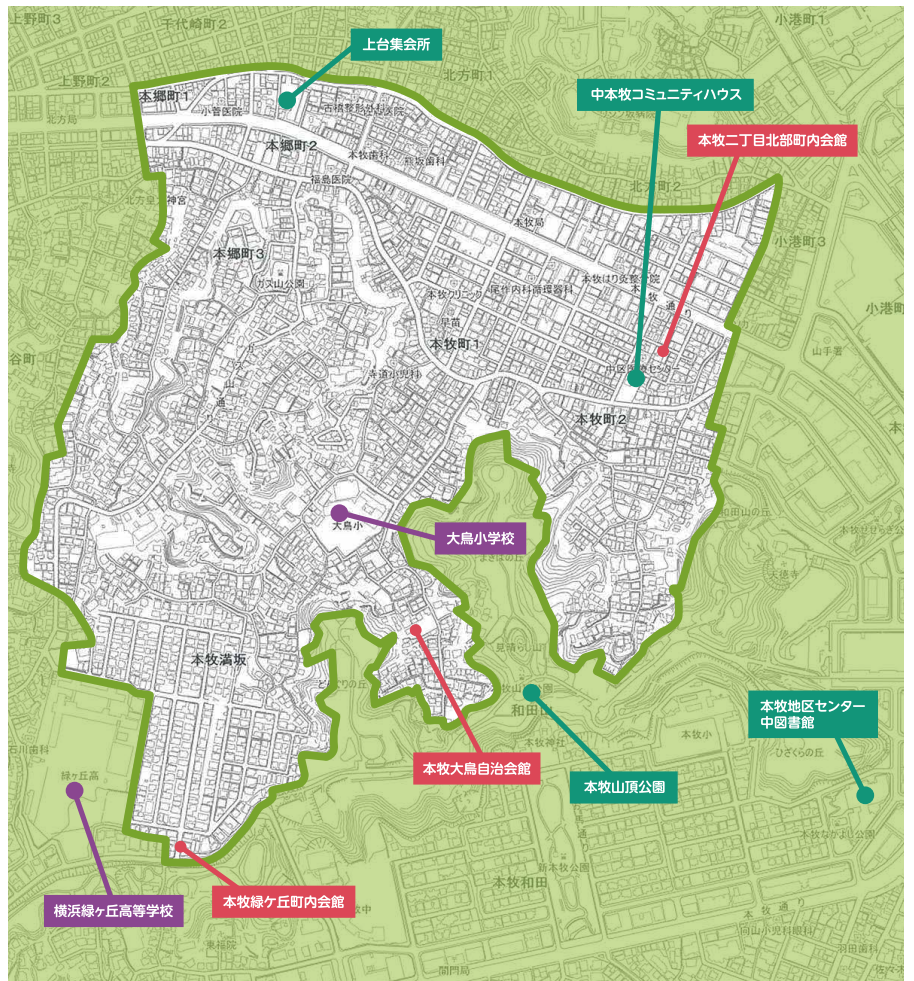
大運動会 ▲



Honmoku Halloween仮装パレード ▲

第4地区南部は こんなまちです

開港前からの歴史と戦後のアメリカ文化の影響を受けた独特の本牧文化が形成されています。旧路面電車の通っていた本牧通りには現在では市営バスが頻繁に通る、住民の主要な交通機関となっています。また、急な坂や階段の多い住宅地と平地の商店街エリアからなり、住民が住んでいる場所の大半は丘陵地となっており、高齢者や障害者などの負担となっています。住民同士のきずなは深く、地域でのお祭りやイベントが盛んに行われています。



本郷町・本牧町・本牧満坂・本牧荒井の一部

nakanaka iinei!

これまでの計画(第3期)の振り返り

こどもから高齢者まで幅広い世代が参加するイベントを通して、多世代のつながりが深まりました。

横浜マリンFMやSNSなどの様々なツール、ミニサロンや食事会の集まりの場を通して必要な情報を必要な人に提供することができました。

より身近な範囲で、地域に密着したミニサロンや健康教室、防災の取組が進み、近隣住民のつながりが深まりました。



第4期計画

目標	第4期の取組
<p>もっと地域活動を知って、参加してもらって、地域のつながりを作ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● マリンFMやSNSなど様々な情報媒体を活用し、地域情報を伝えていきます。 ● 地域活動の担い手が減っている中で、負担感なく活動できるよう、方法を工夫して、交流する機会を持ち続けていきます。 ● 活動している団体同士が連携し、お互いの利点を生かした活動をしていきます。
<p>誰もが声をかけ合えるまちにしていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民や地元企業を対象に認知症の理解を深めてもらい、認知症になっても暮らしやすいまちにしていきます。 ● より身近な範囲での住民同士のつながりを目指し、サロン等を行います。 ● 企業と住民が連携し、ゆるやかに見守る地域づくりに取り組みます。 ● 防災訓練やイベント等に障害のある方や外国人などいろいろな人が参加できるよう声をかけます。 ● 身近な生活環境を良くするよう声をかけあって考えていきます。
<p>一人一人が自分に合った健康づくり・つながりづくりを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 多世代が参加できるふれあいウォークや大運動会等で、健康づくりを進めます。 ● 日ごろからウォーキングやラジオ体操等、身近な場所で、誰もが健康づくり・つながりづくりに参加できる機会をつくりまします。

第4期計画はこのようにつくりました

「本牧4南元気なまち運営委員会」でグループワークやアンケートを実施し、地域活動を振り返りました。また、令和2年度に開催されたいきいきゼミナール(計3回)の意見も参考にしました。



Honmoku Halloween 仮装パレード

nakanaka photo



取り組む理由

視点

- LINEなどの新しい情報ツールの活用が始まっている一方、個々の活動が知られていないため、ひとりひとりに情報を伝え、広げていきたい。
- 活動の担い手や参加者が減っている。活動内容を見直すことも必要。
- イベントを通して仲間を作ることで、お互いに元気であるかを気づかいあえる。
- 子どもから大人まで交流できるようになるとよい。
- 活動している団体同士で連携できるところもあるのではないかな。

えん結び

- 認知症の理解が進んできた。
- 地域のラジオ体操やミニサロン等でゆるやかな見守りが行われている。
- 困ったことを助け合える地域になるとよい。
- 全ての人々が、顔見知りになっているとよい。
- 地域でこどもを育てる環境になるとよい。
- まちの美化に取り組みたい。

えん結び

- 地域のラジオ体操やウォーキングを通じて、近くの人と知り合えるとよい。
- 幅広い世代が交流できるイベント、防災や集まって行う健康づくりの取組に力を入れたい。

元気いっぱい

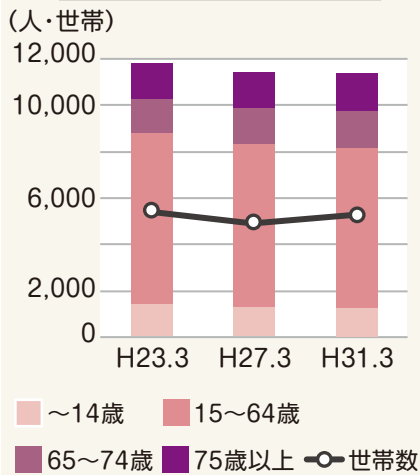
えん結び・・・見守り力を高める取組 元気いっぱい・・・健康づくりの取組

第4地区南部の統計データ

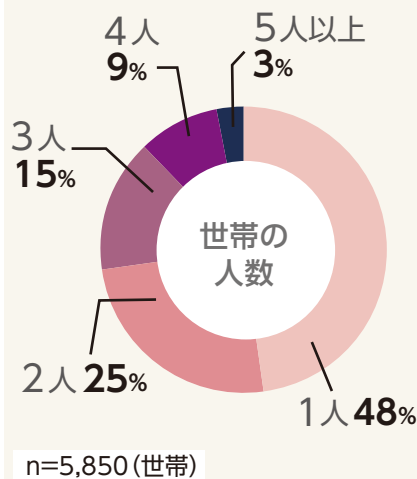
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	11,767	1,367	7,540	1,313	1,547	24.3	5,944	1.98
H27.3	11,368	1,256	7,031	1,567	1,514	27.1	5,659	2.01
H31.3	11,348	1,183	7,018	1,507	1,640	27.7	5,850	1.94

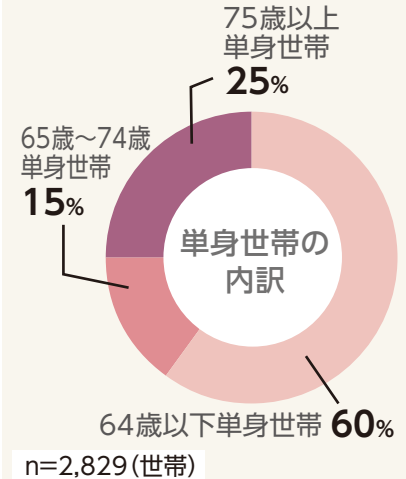
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)



世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	5,785	2,710	46.8	451	668	545
H31.3	5,850	2,829	48.4	437	692	559
R2.3	5,980	2,911	48.7	453	704	576

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

住民の居住年数

(H27 国勢調査より)

居住年数	人数(人)	割合(%)
出生時から居住	1,149	10.4
1年未満	545	4.9
1年以上5年未満	1,588	14.4
5年以上10年未満	1,360	12.3
10年以上20年未満	1,818	16.5
20年以上	2,793	25.3
居住期間「不詳」	1,770	16.1

データから見た第4地区南部

総人口は、平成27年からはほぼ横ばいですが、75歳以上の高齢者が増加しています。高齢化率も中区平均(23.4%)より高く、今後も上昇すると思われます。また、高齢者の単身世帯が多く、65歳以上の2人暮らしの世帯を加えると、全世帯の約3割が高齢者のみの世帯となっています。

住民の居住年数を見ると、20年以上という割合が高く、長くこの地区に住み続けている住民が多いことが分かります。

令和元年の区民意識調査では、「自治会町内会への加入」について回答者の75.2%(n=109)が加入していて、地域活動への参加率も他地区に比べ、高い割合を示しています。

第4地区北部

5年後の目指す姿

こどもたちの「ふるさと」になるまち
～安心して住みやすい 誇れるまち～



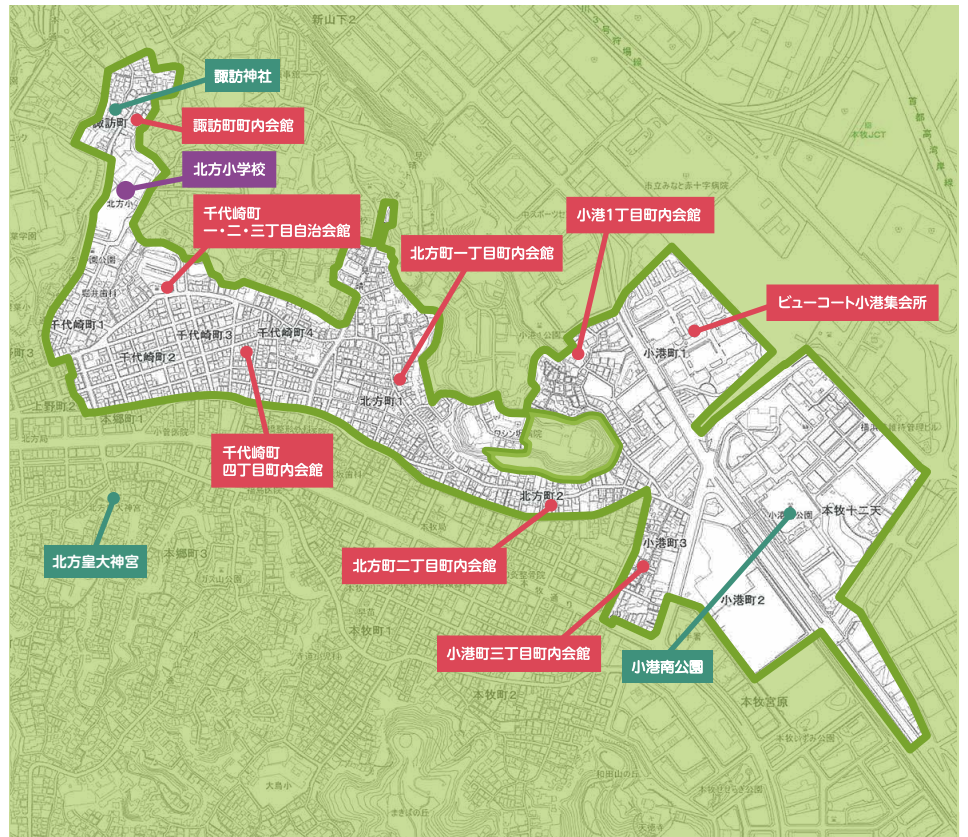
千代崎四囃子連 ▲



子育てサロン「ひだまり」 ▲

第4地区北部は こんなまちです

坂の多い丘陵地から海辺の埋立地へと東西に広がり、昔ながらの下町の風情が残る住宅地と集合住宅が立ち並ぶ地域があります。子育てサロンや高齢者食事会等、世代の垣根を越えた見守り活動が盛んに行われ、介護予防の観点からの健康づくりの活動にも積極的に取り組まれています。



北方町・小港町・諏訪町・千代崎町・本牧十二天・山手町の一部



これまでの計画(第3期)の振り返り

自治会町内会や民生委員・児童委員が消費生活推進員と一緒に、高齢者食事会「あじさい会」において振り込め詐欺を防止するための紙芝居を行うなど、増加傾向にある単身世帯の高齢者を見守る活動を行いました。

民生委員・児童委員が中心となりキャラバン・メイトを養成し、山手警察署・加賀町警察署・横浜銀行で認知症サポーター養成講座を開催するなど、認知症の人とその家族が安心して暮らしていけるよう支援を行いました。

コロナ禍により地域行事が減少したことで、これまでやってきた自治会町内会の活動が交流の場として大切な役割を果たしていることを改めて感じました。

第4期計画

目標	第4期の取組
<p>参加者も担い手も楽しみながら仲間を作り、ゆるやかに見守り・支え合える関係をつくっていきこう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日ごろから声を掛け合い、助け合える関係をつくりまします。(あいさつ、声掛け、消費者被害の予防啓発、多言語対応) ● 誰もが参加しやすくなるよう行事や活動を工夫し、仲間づくりや見守り合える居場所づくりの取組を続けます。 (子育てサロン「ひだまり」・高齢者食事会「あじさい会」・老人会・運動会・お祭り・餅つき・成人のお祝い・グラウンドゴルフ・各町内における小さな単位での活動) ● 認知症やその介護者への理解を広めていきます。 (企業も含めた認知症サポーター養成講座) ● 地域活動の担い手同士で定期的に情報を交換し、活動状況を地域に伝えていきます。(「まちづくり会議」の開催・「まちづくり会議通信」の発行)
<p>気軽に誰もが参加できる地域活動を通して、健康で元気なまちづくりを進めよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● まちぐるみで健康意識を高めるための活動を続けます。 (ラジオ体操・ウォーキング・健康講座・脳トレ講座・研修) ● 趣味や特技を生かして活動できる場をつくりまします。 ● みんなで声を掛け合い、町内美化に取り組みまします。(草刈り・ごみ捨ての見守り)
<p>子どもたちが安心して暮らしやすいまちにしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 多世代交流を深め、顔の見える関係づくりを進めます。 (千代崎四囃子連・運動会・防災訓練・餅つきなど) ● 子育て世代が交流できる活動を続けます。 (子育てサロン「ひだまり」・子ども会) ● 身近な見守り活動により、地域の一人ひとりが子どもたちの健やかな成長をゆるやかに見守ります。(児童の登下校時のあいさつ運動・夜警など)

第4期計画はこのようにつくりました

第4地区北部では、「まちづくり会議」という名称で地区別推進会議を開催しています。

「まちづくり会議」では、7つの自治会町内会を3つのグループに分け、グループワークを行いました。地域で今後も続けていきたい取組や、今後始めたい地域活動などについて意見交換をしながら計画にまとめました。



nakanaka photo

取り組む理由

視点

- いざというときや困ったときに身近な人同士で助け合えるよう、隣近所のつながりを深めたい。
- 日本に慣れない外国の方々やと理解し合える関係をつくりたい。
- 新たに住民となった方が地域の人と出会い、つながる場をつくりたい。年齢に関わらず様々な世代のつながりをつくりたい。
- 高齢になっても、認知症になっても安心して過ごせるまちにしたい。認知症の家族への支援にも目を向けていきたい。
- 多くの人に様々な地域活動を知ってもらい、まちに関心を持ってほしい。
- 時々の状況をふまえて、できる活動を行いたい。

えん結び

- 自分の健康だけでなく、隣近所の人と一緒に健康になるよう声を掛け合い、まち全体が健康になるようにしたい。
- 役割を持って参加できる活動があることを多くの人に周知し、元気な人を増やしたい。
- 誰もがルールを守り、気持ちよく住めるまちにしたい。

元気いっぱい

- 子育て世代に地域行事に参加してもらいたい。
- 親子の孤立を防ぐため、地域全体で子育てをしていきたい。
- 地域全体で子どもたちの健やかな成長を見守り、地域活動を未来につないでいきたい。

子どもたちは
宝もの

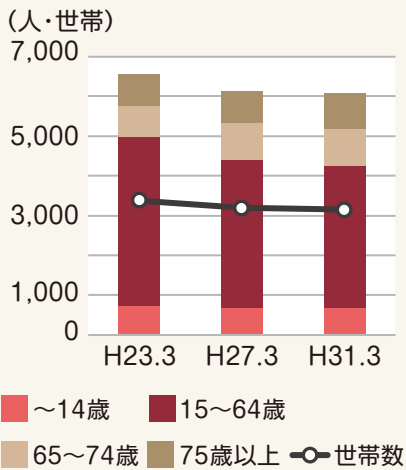
えん結び・・・見守り力を高める取組 元気いっぱい・・・健康づくりの取組

第4地区北部の統計データ

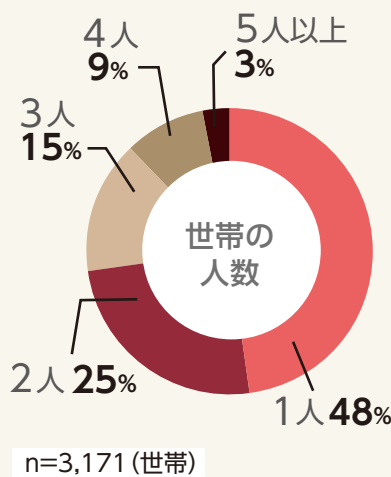
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	6,658	744	4,336	763	815	23.7	3,408	1.95
H27.3	6,204	683	3,791	918	812	27.9	3,185	1.95
H31.3	6,128	690	3,650	914	874	29.2	3,171	1.93

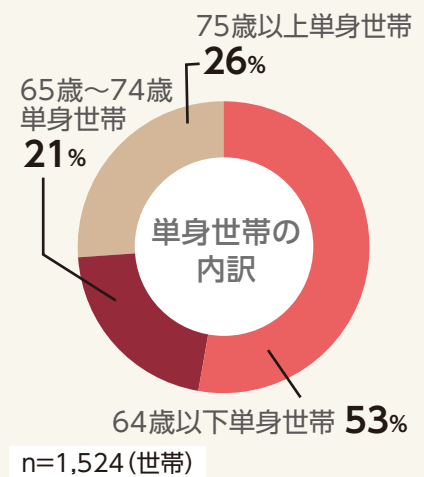
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)



世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	3,122	1,483	47.5	306	380	302
H31.3	3,171	1,524	48.1	326	396	297
R2.3	3,310	1,548	46.8	330	394	303

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

住民の居住年数

(H27 国勢調査より)

居住年数	人数(人)	割合(%)
出生時から居住	599	10.2
1年未満	368	6.3
1年以上5年未満	977	16.6
5年以上10年未満	724	12.3
10年以上20年未満	1,009	17.2
20年以上	1,339	22.8
居住期間「不詳」	855	14.6

データから見た第4地区北部

人口は減少傾向にあり、特に15～64歳の勤労世代の減少が大きくなっています。

高齢化率は29.2%で中区平均(23.4%)を大きく超えていて、区内では寿地区に次ぎ、2番目に高くなっています。また、単身の高齢者が多く、65歳以上の2人暮らしを含めると、全世帯の3分の1が高齢者のみの世帯となります。

居住年数を見ると、出生時からと20年以上を合わせると33%となり、長くこの地区に住み続けている住民が多いことが分かります。



本牧・根岸地区

5年後の目指す姿

誰もが地域の一員として、
安心して過ごせるまち本牧・根岸



本牧・根岸地区は こんなまちです

古い伝統があり、おしゃれな町並みの閑静な住宅街と、埋立地の埠頭や工場、製油所などがある地区です。大規模マンションの建設により、若い世代の人口が多く、様々な世代の活動や交流が活発に行われています。

また、住民だけではなく、学校や企業、医療・福祉関係の事業所も地域とのつながりを大切に、地域活動に参加しています。



根岸町・根岸加曽台・池袋・矢口台・本牧間門・本牧荒井の一部・本牧三之谷・本牧大里町・本牧元町・本牧原の一部・錦町・かもめ町・千鳥町・豊浦町・本牧ふ頭・南本牧

これまでの計画(第3期)の振り返り

自治会町内会や民生委員・児童委員を中心に、サロンや高齢者食事会などが活発に行われています。様々な関係機関や地域活動団体が連携し、地域のつながりをつくるための活動をしています。コロナ禍により中止せざるを得ない活動もありましたが、本牧ライトアッププロジェクトやスプリングコンサートなど、世代を超えた交流ができる活動を続けています。

第4期計画

目標	第4期の取組
<p>誰もが気軽に参加でき、交流することができる場や機会を増やします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在取り組んでいる地域活動を継続していきます。 ● 地域活動を知り、参加・交流ができるよう、広報紙等による情報発信をきめ細かく行います。 ● 趣味を生かした交流など、気軽に参加ができる機会を検討していきます。
<p>地域のつながりを深め、住民同士で緩やかな見守りができるまちを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● サロンや高齢者食事会のほかにも、地域で「集まる場所」を増やします。 ● 「集まる場所」まで来ることが困難な人のために、移動手段や解決に向けた工夫を検討します。 ● 誰もが参加できるような活動を始めます。また、障害や認知症への理解が進むよう、講座や研修を開催します。
<p>誰もが健康で暮らし続けることができるよう、健康づくりに取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 世代を超えた健康づくりの方法を検討し、実践します。 ● 自宅でできる健康体操やストレッチ方法などをインターネットやSNSを使って情報発信し、自分のペースで健康づくりに取り組めるよう支援します。 ● 医療や福祉に関する制度やサービス、相談機関を知ってもらえるよう、講座や研修を企画します。
<p>災害時に地域住民が力を合わせて対応することができる地域をつくりまします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 一人ひとりが防災の意識を持つことができるよう、避難訓練の実施や災害情報の提供を行い、備蓄品や避難所、ペットの同行避難などへの理解を深めます。 ● とより近所のひとり暮らし高齢者や障害がある人を把握し、いざというときに迅速かつ適切に避難ができるよう、地域での助け合いの関係性を構築します。

第4期計画はこのようにつくりました

本牧・根岸地区社会福祉協議会で、地区別計画の推進状況を共有し、取組に関する工夫や課題について話し合いました。また、地域に潜在するニーズや課題を把握するため、令和2年に地区懇談会を開催し、当事者や事業所等の地域で暮らす人や働く人のご意見を計画に反映しました。



取り組む理由

視点

- 様々な世代の人とつながり、地域の見守りにつなげたい。
- 生きづらさを抱えている人も地域で安心して生活を送れるよう、住民同士がつながりを持ちたい。
- 自分の知識や特技、趣味などを生かした活動をすることで、人とのつながりを持ち、地域での孤立を防ぎたい。そのための交流のきっかけを増やしたい。

えん結び

- 引きこもりや虐待、貧困等の周りに助けを求めにくく、周りが気づきづらい困りごとについて、地域に関心を持ってもらいたい。
- 様々な課題に気づき、住民同士で緩やかな見守りができるよう、相互理解を深める取組が必要だと思う。

えん結び
その他

- 健康づくりが主な目的ではない活動でも、交流することで健康づくりにつながることがある。
- with コロナ、after コロナを考えて、運動機能低下等を予防する必要がある。
- 住み慣れた地域で元気で生活するためには、健康につながる取組を多世代に向けて発信する必要があると思う。
- 住み慣れた場所で生活を続けるには、更なる健康づくりが必要だと思う。

元気いっぱい

- 今後、災害のリスクが高まる可能性がある。地域全体の意識は高いが、「自分のこと」として捉えている人が少ないという声がある。
- 単身世帯の多い地域や介護・医療的ケアが必要な人、障害のある人などへの支援を考える必要がある。

元気いっぱい
その他

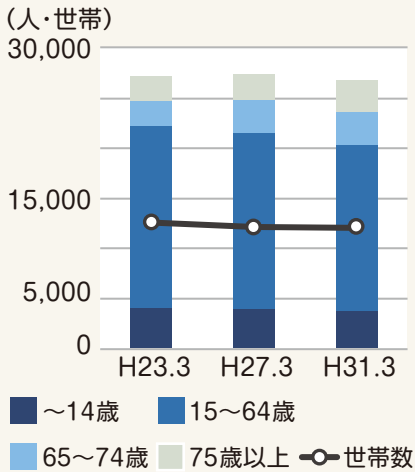
えん結び…見守り力を高める取組 元気いっぱい…健康づくりの取組

本牧・根岸地区の統計データ

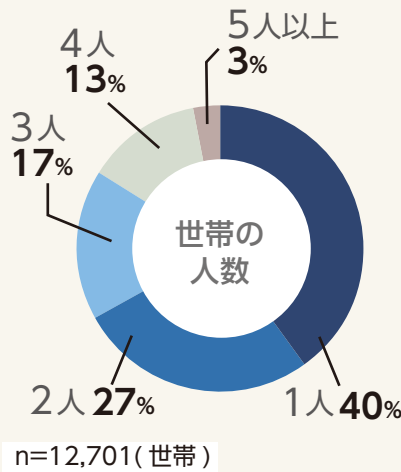
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	27,418	3,920	18,466	2,582	2,450	18.4	13,075	2.10
H27.3	27,678	3,868	17,966	3,180	2,664	21.1	12,824	2.16
H31.3	26,992	3,572	17,085	3,282	3,053	23.5	12,701	2.13

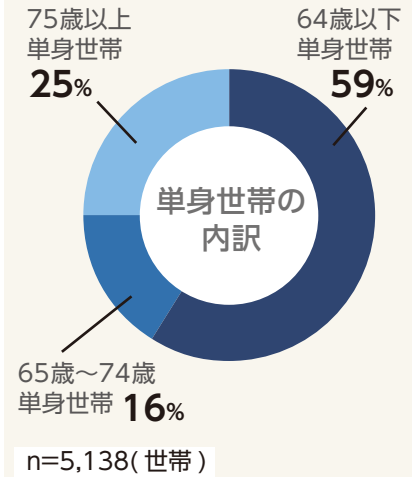
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)



世帯数・単身世帯の推移

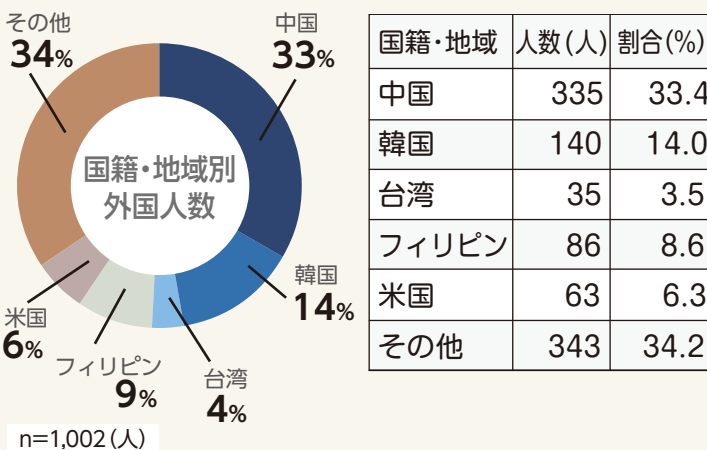
調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	12,746	5,084	39.9	809	1,176	1,146
H31.3	12,701	5,138	40.5	818	1,264	1,216
R2.3	12,834	5,298	41.3	822	1,317	1,250

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

住民の居住年数 (H27 国勢調査より)

居住年数	人数(人)	割合(%)
出生時から居住	2,307	8.4
1年未満	1,479	5.4
1年以上5年未満	4,803	17.6
5年以上10年未満	3,941	14.4
10年以上20年未満	5,043	18.5
20年以上	5,255	19.2
不詳	4,499	16.5

地区内の外国人の状況 (H31.4現在)



データから見た本牧・根岸地区

- 総人口、世帯数ともにやや減少しています。特に、14歳以下と15歳～64歳の人口が減少し、高齢者は増加し、高齢化率が23.5%となっています。
- 子どもの数は減少していますが、他地区に比べ14歳以下の人口割合は13.2%と高く、区内で一番高いです。
- 単身世帯の割合は、他地区に比べ低くなっていますが、75歳以上の単身世帯数が区内で一番多く、増加しています。
- 居住年数にはばらつきがあります。
- 地区内の外国人数は1,002人ですが、多国籍の外国人が居住しています。



第6地区

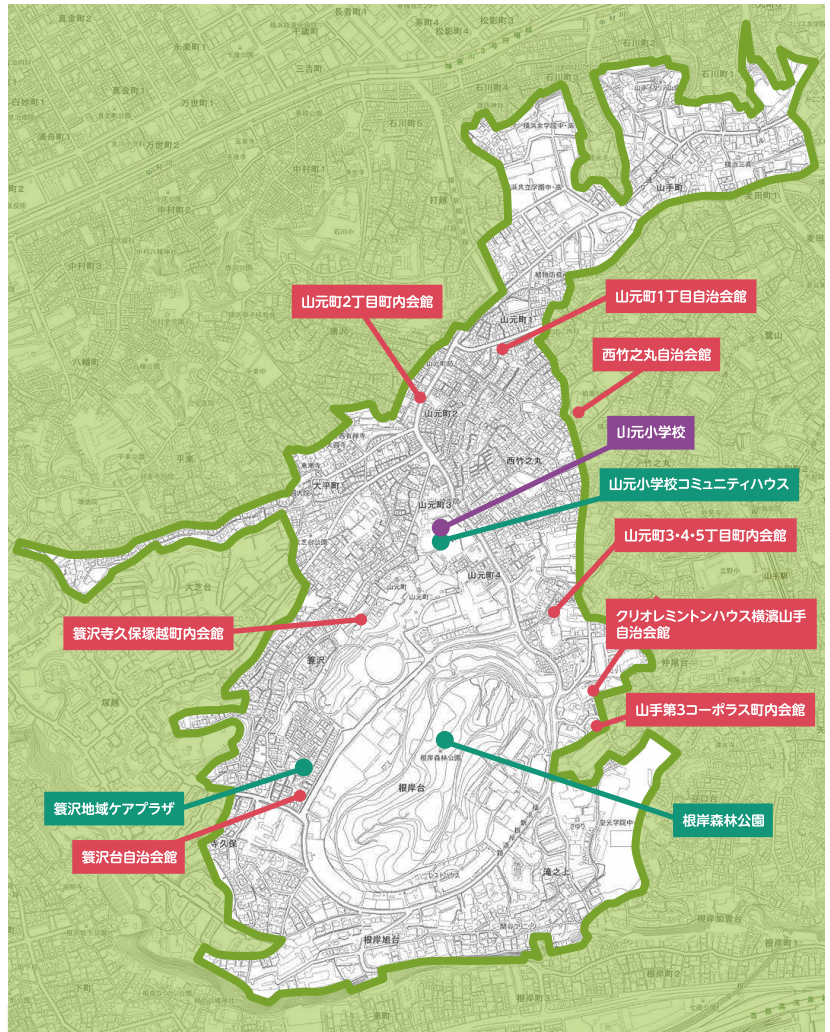
5年後の目指す姿

みんなでふれあう町づくり



第6地区はこんなまちです

歴史ある丘陵地帯に形作られた地域であり、急な坂道や階段、狭い道が多く、この地形により特に高齢者、障害者等にとって生活上の厳しい側面があります。一方で根岸森林公園は、住民の憩いの場所として多くの方に愛されています。昔ながらの下町の良さを生かした地域住民の助け合いの精神が息づいており、支え合う町づくりを目指しています。



大芝台・大平町・塚越・寺久保・西竹之丸・根岸旭台・根岸台・箕沢・山元町・滝之上・山手町の一部

これまでの計画(第3期)の振り返り

盆踊りなど共通の目標に対し、第6地区全体で取り組むことができました。

イベントカレンダーが定着してきており、イベント参加のきっかけになっています。

お祭りで「ジュニアリーダー」が活躍し、盛り上げています。

横浜訓盲院との視覚障害者の誘導訓練を通じて障害に対する理解が深まりました。

第4期計画

目標	第4期の取組
子どもから高齢者まで様々な世代がふれあう町にします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在行われているイベントを工夫して、子どもからお年寄り、障害者、外国人などの幅広い交流を図ります。(盆踊り、箕沢地域ケアプラザ祭りとの連携、運動会等) ● 若い世代の参加を促すため、Web版イベントカレンダーや、SNSを活用した情報発信を行います。 ● みんなが気軽に誰とでも「あいさつ」できるような環境づくりを進めます。 ● 子育て世代の交流の輪を広げるために、情報発信を行います。
現在行われている取組を活性化し、健康増進と地域交流を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在行われている健康づくりの取組を軸として、地域交流の場が更に分人が集まる場となるよう工夫します。(根岸森林公園・柏葉公園のラジオ体操、保健活動推進員のウォーキング、運動会等) ● 買い物支援の機会に集まった仲間同士でコミュニケーションを図り、健康づくりの一助とします。 ● 「ふれあいサロン」の継続等、集いの場所が増えるよう取り組みます。
安心・安全で、皆にやさしい町にします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災や防犯の取組を通じて、誰もが安心・安全で暮らしやすく、みんなが愛着を持てる町にします。 ● 商店街や公園等の地域の資源を生かして、町の活性化を図ります。

第4期計画はこのようにつくりました

連合町内会、商店街、横浜訓盲院、青少年指導員、地域関係企業などの代表で構成される「みんなで町づくりプロジェクト」でアンケートを実施しました。その結果を踏まえ、計4回のプロジェクト会議を開催して計画案を策定し、元気づくり推進協議会で決定しました。

nakanaka photo



取り組む理由

視点

- ご近所同士で縁側で気軽に話すような関係をつくりたい。
- 日常のちょっとした困りごとも、地域で助け合い、支え合えるような関係をつくりたい。
- 情報の共有が弱いので、地域の情報や課題をSNS等、様々な手段で発信できるようにしたい。
- 若い世代が地域コミュニティに参加するきっかけをつくりたい。

えん結び

- 根岸森林公園では、日常的にラジオ体操を行っており、人が集う環境となっているので、これを地域全体の元気や交流に発展させていきたい。

元気いっぱい

- 戦前からの町であり、狭い道路に家が密集している所も多い。また、空き家も目立つようになり、防災・防犯の対策が今まで以上に求められている。

その他

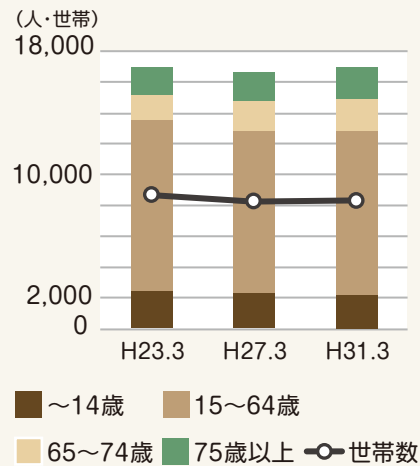
えん結び・・・見守り力を高める取組 元気いっぱい・・・健康づくりの取組

第6地区の統計データ

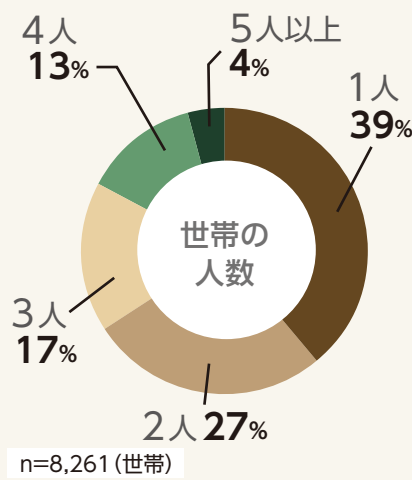
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	17,780	2,689	11,527	1,711	1,853	20.0	8,364	2.13
H27.3	17,480	2,562	10,941	2,036	1,941	22.8	8,036	2.18
H31.3	17,814	2,491	11,184	2,021	2,118	23.2	8,261	2.16

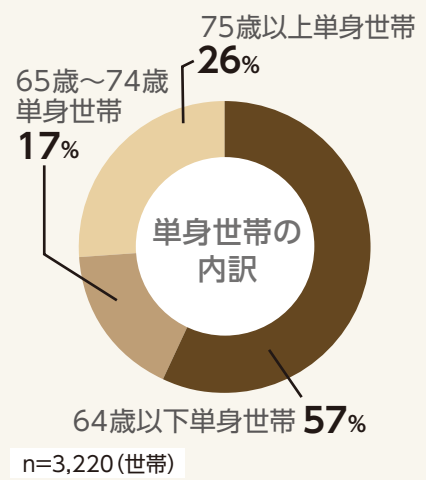
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)



世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	8,130	3,092	38.0	531	812	758
H31.3	8,261	3,220	39.0	541	830	785
R2.3	8,279	3,276	39.6	547	856	801

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

住民の居住年数

(H27 国勢調査より)

居住年数	人数(人)	割合(%)
出生時から居住	1,434	8.4
1年未満	1,178	6.9
1年以上5年未満	2,571	15.1
5年以上10年未満	2,003	11.8
10年以上20年未満	3,774	22.2
20年以上	3,520	20.7
居住期間「不詳」	2,507	14.8

データから見た第6地区

第6地区の総人口は減少傾向でしたが、新たな住宅やマンションの建設が進み、ここ数年は人口、世帯数ともに増加しています。単身世帯の割合は低く、3人以上の世帯が1/3を占めています。世帯平均人数も2.16人と区内では2番目に多くなっています。14歳以下の人口は14.0%と区内では高い割合ですが、人数は減少しています。

高齢化率は徐々に上昇していますが、要介護認定率は区内で12番目と低く、元気な高齢者が多いと考えられます。

居住年数では、「出生時から居住」「20年以上」という割合が高いことから、長く住み続ける住民が多いことがわかります。



新本牧地区

5年後の目指す姿

新本牧は「あいさつ」でまちづくり
～広げよう！つなげよう！「人の和」～



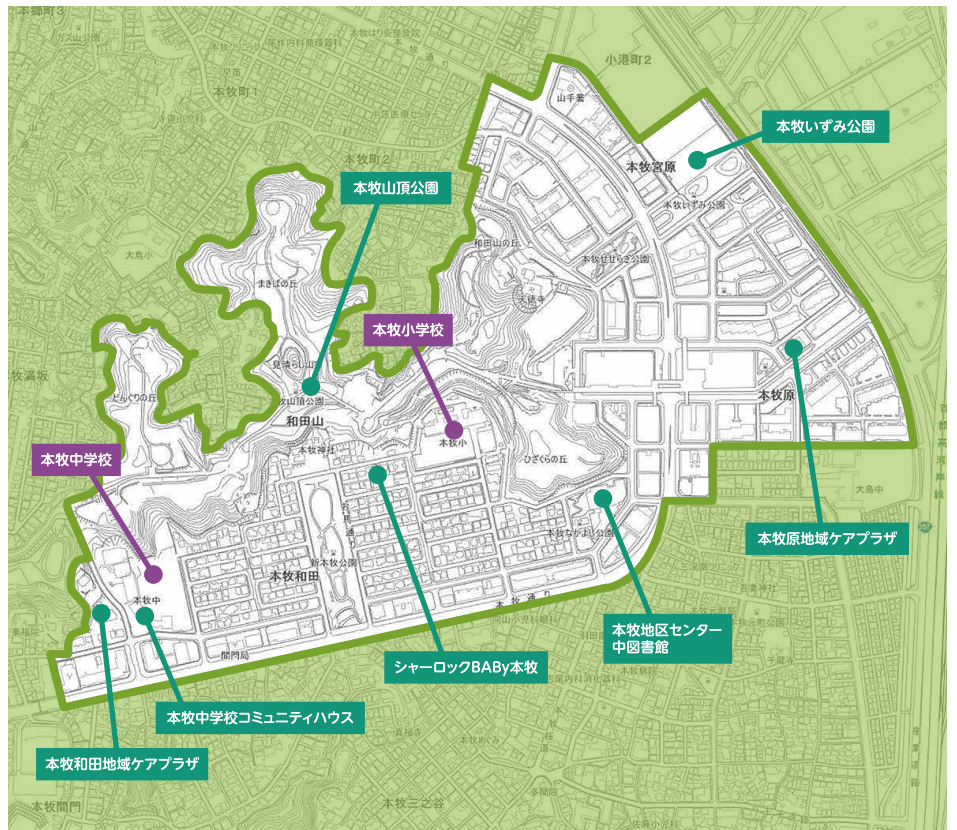
本牧ライトアッププロジェクト ▲



みどり会（地区社協）のお弁当配布 ▲

新本牧地区は こんなまちです

米軍の接収地だった土地を新たに開発してできた地域で、開発とともに移り住んだ住民が多いまちです。区画整理により公園や緑に囲まれ、道幅も広く景観が良いのが特徴です。地域の担い手として、現役世代が多く活躍しています。



本牧宮原・本牧和田・和田山・本牧原の一部

nakanaka iinei

これまでの計画(第3期)の振り返り

あいさつ運動を計画前期で実施し地域の子もたちと住民の交流が少しずつ進みました。

計画前期に小中学生に地域のイベントに参加してもらい内容の充実を図りました。

3地区(第4地区南部、本牧・根岸、新本牧)共催のイベントを開始し5年が過ぎ、地区の住民に浸透していきました。

高齢者食事会や日帰りバス旅行の充実を図りました。

第4期計画

目標	第4期の取組
<p>子どもを中心に地域を盛り上げ、困りごとを速やかに察知できる関係を作っていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元の小中学校の行事や取組に関心を持ち、子どもたちとの交流を深め、街中でも気軽に「あいさつ」できる環境を目指します。 ● 中学校の朝の「あいさつ」運動に参加し、顔の見える関係を作ります。 ● 高齢者(食事会・サロン等)の集う場に子どもたちが参加できる機会を増やします。
<p>交流の場を充実し、多世代に渡って助け合えるまちを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域にある施設や団体、企業と協力関係を深め、地域での参加の輪を広げていきます(施設・団体・企業の行事に積極的に共同参加する)。 ● 各自治会のラジオ体操を充実し、健康づくりをしながら様々な世代の交流を深めます。 ● 夏の神社例大祭を通じて住民の交流を促進します。
<p>環境面から住みやすいまちづくりを通して、住民が健康で安全に暮らせるようにします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 各自治会の清掃活動を充実させまち全体をきれいにします。 ● 地区や自治会主催の防災訓練により多くの住民の参加を促していきます。 ● 警察や自転車販売店と協力し、自転車マナー向上&路上駐車減を目指した、広報活動を行います。 ● コロナ禍での閉塞的な暮らしから脱却するためのアイデアを募り、実施していきます。

第4期計画はこのようにつくりました

自治会町内会長、地区民児協、区民利用施設や福祉施設などで構成された「新本牧地区元気づくり推進協議会」で実施したアンケートをもとに計画の原案を作成し、それについて再び意見をもらい、計画を完成させました。

nakanaka photo



本牧ライトアッププロジェクト



みどり会(地区社協)のお弁当配布



取り組む理由

視点

- 地元の学校と連携し、地域のイベントなどに小中学生が積極的に参加できるような雰囲気になりたい。
- 全ての世代で困った事があったときに、お互いにすぐ、気づけるよう見守り合いたい。

えん結び

- イベントに参加する事により、普段からお互いに「あいさつ」し合える関係を作るようにしたい。
- 交流により親しく知り合い、多世代に渡って助け合えるようにしたい。

えん結び
元気いっぱい

- 環境の充実があってこそその元気なまちづくりを目指したい。
- コロナ禍の影響で孤立し、苦勞している多世代の住民(特に高齢者)を救える手立てを講じたい。

元気いっぱい
その他

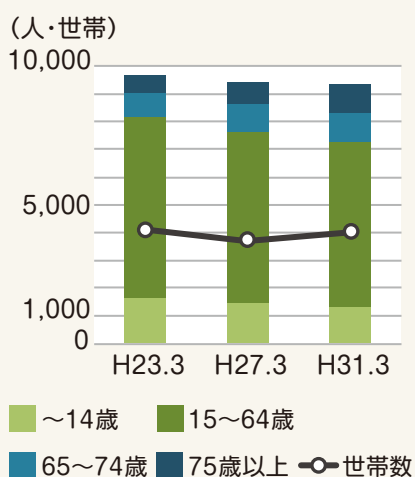
えん結び・・・見守り力を高める取組 元気いっぱい・・・健康づくりの取組

新本牧地区の統計データ

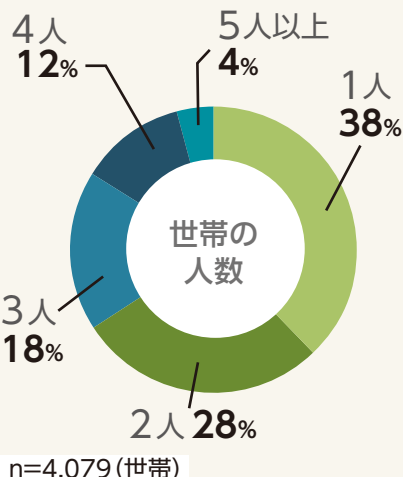
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	9,627	1,645	6,513	710	759	15.3	4,099	2.35
H27.3	9,415	1,461	6,180	917	857	18.8	3,976	2.37
H31.3	9,287	1,319	5,911	1,024	1,033	22.1	4,079	2.28

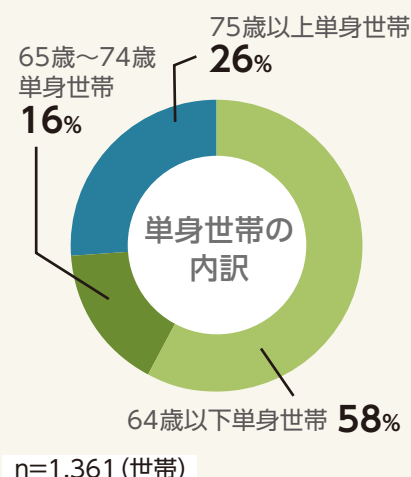
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)



世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数総数(世帯)	単身世帯総数(世帯)	単身世帯割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	4,030	1,301	32.3	218	393	404
H31.3	4,079	1,361	33.4	238	421	408
R2.3	4,100	1,378	33.6	245	441	418

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

住民の居住年数

(H27 国勢調査より)

居住年数	人数(人)	割合(%)
出生時から居住	543	5.7
1年未満	783	8.3
1年以上5年未満	1,962	20.8
5年以上10年未満	1,475	15.6
10年以上20年未満	1,800	19.0
20年以上	1,317	14.0
居住期間「不詳」	1,569	16.6

データから見た新本牧地区

人口はやや減少傾向にあります。特に勤労世代の人口が減少しており、高齢者人口が増加しています。平成27年には18.8%であった高齢化率は平成31年には22.1%に上昇しています。

単身世帯の割合は33.4%(H31)と低く、世帯平均人数も2.28人と区内では一番多くなっています。14歳以下の子どもの割合も14%と区内では高く、ファミリー層が多く居住していることがわかります。

一方で住民の居住年数を見ると、長年居住している割合が高く、今後はさらに高齢化が加速していく可能性が高いと思われます。

参考 地域支援チーム

区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザは、地域にある支援機関として、様々な職種（看護職、社会福祉職、コーディネーター等）が協力して、地域住民の安全・安心な暮らしを実現していく役割を担っています。また、これら3つの機関の職員で構成された地域支援チームが、各地区を支援していきます。

地域支援チーム(それぞれの役割)

区社会福祉協議会

地域の福祉活動を支援し、様々な福祉的課題の把握と解決を地域のみなさんや地域ケアプラザ、その他の関係機関と一緒にいきます。

区役所

地域協働の総合支援拠点として、地域の主体性を尊重しつつ、部や課の垣根をこえた総合力を発揮して地域活動を支援します。

地域ケアプラザ

地域の身近な施設であり、地域の情報、個人や各世帯で生じている福祉的な課題を把握し、課題解決に向けた活動を地域に身近な立場で地域住民とともにいきます。

地域支援チームで活動する目的は？

- ① 地区別計画における地域の取組が進むよう支援します。
- ② 地域活動が推進されるよう、新たな人材の発掘やネットワーク形成ができるよう支援します。
- ③ 地区別計画の策定や振り返りを支援します。

具体的な取組は？

① 地域支援チーム会議の開催

定期的に地域支援チーム会議を開催し、地域情報の共有や地区の課題解決に向けた地域を支援するための具体的な取組や、住民と地域課題等について話し合いができるようにするための工夫などを話し合います。

② 地区別計画に関する話し合いの支援

地区別計画は住民の話し合いによってつくられ進められるものです。住民が地区の課題やそれに対応する取組を話し合えるよう情報提供するなど支援します。



地域支援チームもチーム会議をはじめとして対話の機会を持つことで、地域のことを学んでいます。そこで学んだことや気づいたことを地域のみなさんにお伝えしていきます。